

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 (ホ)本書のご提示がない場合
 (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	7インチ ポータブルDVDプレーヤー			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	DVDP-372Z	品番	07-8372	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

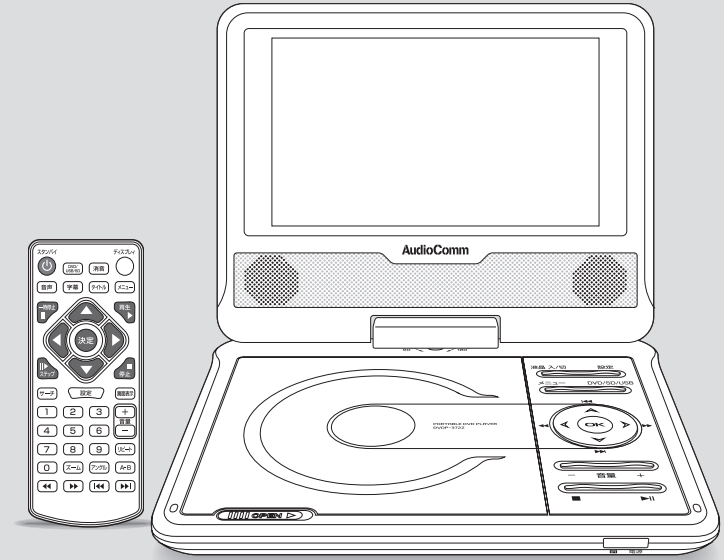
07-8372B

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

7インチ ポータブルDVDプレーヤー

型番: DVDP-372Z



このたびは、AudioComm® 7インチ ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
 なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

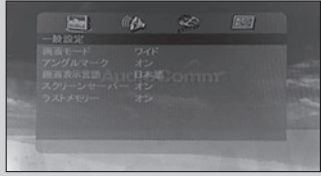
本製品及びこの取扱説明書をご利用いただくにあたって以下のことをご理解ください。

免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

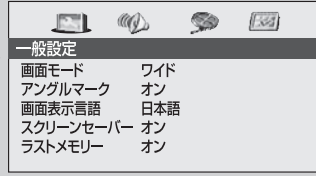
- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 取扱説明書(本書)を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- 落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
- 関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状態によって生じた本製品の利用機会の損失

本書で使用している画面表示の図版やイラストについて

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。また、図版に示したマークや文字、それらの表示位置、内容などは、再生するディスクによって一部異なる場合があります。



実際の画面例



この取扱説明書での表示例

操作説明で使っているボタン・スイッチなどの名称について

本製品では、ポータブルDVDプレーヤー(本機)と付属するリモコン双方で様々な操作ができます。この取扱説明書では、同じ機能を有するボタンやスイッチなどの名称が本機とリモコンで異なる場合、主にリモコンの名称を使って説明しています。また、リモコンのみで操作可能な機能もありますのでご注意ください。

DVDの規格について

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使いかたを間違えると操作に反応しないことがあります。使いかたを間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。



無効マーク

- 再生中にボタン操作をしたとき、左のマークが出たら、その時点では操作できないことを示しています。画面が変わるか、時間をおいてから再操作してください。
- メディアの種類や内容により操作できない場合も、左のマークが表示されます。

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物(DVD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起きます。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。磁気や電磁障害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータを消失するおそれがあります。

もくじ

ご注意

安全にお使いいただくために 3

はじめに

付属品をご確認ください	7	各部の名称	14
電源について	7	電源のオン/オフについて	16
リモコンの使いかた	8	ディスプレイについて	17
ご使用になれるメディアについて	9		

設定

セットアップメニューの概要	18	本機映像設定の操作方法	23
画面モードの設定方法	19	テレビ信号方式の設定方法	23
アングルマークの設定方法	20	音声設定の操作方法	24
画面表示言語の設定方法	20	字幕言語の設定方法	24
スクリーンセーバーの設定方法	21	視聴制限の設定方法	25
ラストメモリーの設定方法	21	パスワードの変更方法	26
スピーカー設定の操作方法	22	初期化の操作方法	27
TV映像設定の操作方法	22		

映像を観る

映像再生時の基本操作	28	字幕	33
早送り・早戻し	31	音声	34
スキップ(▶/◀)	31	メニュー	34
ステップ(コマ送り)	31	タイトル	34
消音	32	ズーム	35
サーチ	32	アングル	35
リピート	33	画面表示	35
A-Bリピート	33	ファイルやフォルダーを選んで再生するには	36

音楽／音声を聴く

音楽／音声再生時の基本操作	37	消音	43
画面表示	40	リピート	43
早送り・早戻し	41	A-Bリピート	43
スキップ(▶/◀)	41	音声切換	44
サーチ	42	再生リスト	44

画像を見る

画像再生時の基本操作	45
音楽ファイルを再生しながら、画像を見るには(ヒント)	48

その他の操作

外部のテレビと接続して使う	49
ヘッドホンで聴くときは	49

リファレンス

故障かなと思ったら	50	主な仕様	53
用語解説	52	お手入れのしかた	53
よくあるご質問	52	保証書とアフターサービスについて	54

保証書(裏表紙)

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって三段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

	使用禁止	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
	接続場所を選ぶ	ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。
	電池に注意	乾電池や充電電池を取り外した場合は、小さなお子様が悪く誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池や充電電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
	使用禁止	万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く ●ディスプレイなどから、金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 ●本機の上に水などが入った容器や小さな金属類(クリップや針、コイン、安全ピンやヘアピンなど)を置かないでください。 ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
	禁止	湿気が多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●本製品は防滴・防水仕様ではありません。 ●浴室や台所、雨天時・降雪時の屋外、海岸、水辺などでは使用しないでください。 ●感電や故障の原因となります。

警告

	分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
	禁止	通気口をふさがない ●内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。
	禁止	子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところに置かない ●感電やケガの原因となることがあります。
	禁止	業務用途には使わない ●過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。
	禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使わない ●火災・感電の原因となります。
	適合品を使う	ACアダプターは、必ず本機の仕様に適合した製品を使う。海外でACアダプターを使わない。また、自動車・船舶などの直流DC電源に接続しない ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
	接触禁止	ACアダプター使用時に雷が鳴り始めたら、ACアダプター及びコードに触れない ●感電のおそれがあります。
	禁止	ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	禁止	本機やACアダプターを毛布や敷物などで覆わない ●熱で本機やACアダプターが変形したり、火災・感電の原因となります。
	禁止	本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	禁止	定格を超えて使用しない ●延長ケーブルやOAタップなどをタコ足配線などによって使うと、火災や感電のおそれがあります。
	禁止	ピックアップレンズを覗き込まない ●レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。
	禁止	運転中は絶対に使わない ●交通事故の原因となります。
	禁止	破損したコンセントを使用しない ●家庭用コンセントにACアダプターを差し込んでみてもゆりがある場合、火災や感電のおそれがあります。 ●別のコンセントでご使用ください。

注意

	禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	禁止	USBフラッシュメモリーやSDカードを小さなお子様の手の届くところに置かない ●誤って飲み込むと窒息や障害の原因となります。 ●万一飲み込んだ場合はただちに医師に相談してください。
	禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に置かない ●本製品は車載用ではありません。 ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
	禁止	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。

 注意		
 禁止	長時間、再生画面を見続けたい ●目の疲れや視力低下の原因となります。 ●体の一部に不快感や痛みを感じたときはすぐに使用を中止し、休憩してください。	 禁止
 音量は小さく	音量を抑える。大音量にしない ●周囲の迷惑になります。 ●大きな音で聴き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。	 電池を取り外す
 指示に従う	航空機内でのご使用は、航空会社の指示に従う ●事故の危険があります。	 濡れ手禁止
 禁止	破損・変形したり、補修したディスクは使わない ●ディスクを読み取る際は高速で回転しますので、ケガをするおそれがあります。 ●回転中のディスクには絶対に触れないでください。	 禁止
 禁止	落とししたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない ●故障や破損の原因になります。	 電池を取り外す
 極性に注意	乾電池や充電電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる ●破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損するおそれがあります。	 掃除をする
 禁止	指定以外の乾電池や充電電池は使わない ●破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損するおそれがあります。	
 指を挟まれないように注意	お子様がディスクドア内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。	
		ACアダプターを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
		お手入れの際には安全のため乾電池や充電電池を取り外す。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。
		濡れた手でACアダプターを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。
		ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
		旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず乾電池や充電電池を取り外す。ACアダプター使用時はコンセントから抜く ●火災・液もれの原因となることがあります。
		ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

ニッケル水素充電電池使用時のご注意

ご使用方法

- 充電するときは専用の充電器を使用し、充電器に付属している取扱説明書に従って正しく充電してください。
- 長期間使用しなかった場合は、2〜3回充電と放電を繰り返してください。
- 充電電池の使用時間が著しく低下したときが寿命なので新しい充電電池と交換してください。
- 購入後、充電電池を直射日光の強い場所や炎天下の車内など、高温の場所で使用、放置しないでください。使用時間が短くなったり、性能や寿命を低下させることがあります。

危険

- 充電電池に対応した専用の充電器以外で充電しない。
- ⊕と⊖を逆さにして使用しない。
- ハンダ付け、変形、改造、分解をしない。
- 火中へ投入、過熱しない。また、ショートさせない。
- 水中ライト等の密閉した器具に使用しない。
- 充電電池から漏れた液が目に入ったときは、こすらず、きれいな水で十分に洗い流して、ただちに医師の治療を受ける。

警告

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管しない。
- 外装ラベルを剥がしたり傷をつけない。
- 10個以上を直列に接続しない。
- 充電電池の液が皮膚や衣服に付着したときはきれいな水で洗い流す。
- 液もれや変色、変形などの異常に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かないところに保管する。充電電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談する。

注意

- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の充電電池、乾電池と混用しない。また容量や種類、銘柄の違う充電電池を混用しない。
- 充電電池に強い衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
- 2個以上を使用するときは同時に充電したものを使用する。
- 使用しないときには機器から取り外す。

使用済み充電電池を廃棄するとき

使用済みの充電電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

乾電池についての安全上のご注意

使いかたを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

警告

- 乾電池が液漏れしたとき**
 万一液が漏れたら、液をよく拭き取ってください。液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。
 液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
- 表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。
- 充電しないでください。
- 火の中に入れてください。
- ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- 水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

注意

- 使いきった乾電池は早めに取り外してください。また長時間使用しないときは取り外してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にはしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷する原因となります。

使用済み乾電池を廃棄するとき

使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

■ 付属品をご確認ください



※改造に関するご質問には、法律的及びお客様の安全のため回答できませんのでご了承ください。

製品保護のため、本機にはディスプレイ保護用のフィルムシートと、ピックアップレンズ保護シート(ディスクドア内)が取り付けられています。初めてお使いの際は、これらを取り外してからご使用ください。取り外す際は、ピックアップレンズに触れたり、周辺のケーブルを傷つけたり抜いたりしないようにご注意ください。

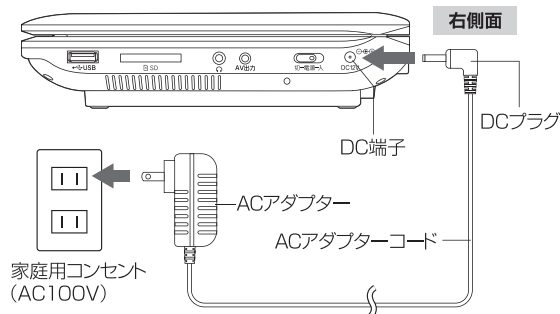
■ 電源について

ACアダプターで使う場合

必ず家庭用電源でご使用ください

- 本機右側面のDC端子に、ACアダプター(付属)のDCプラグを差し込みます。
- 家庭用コンセントにACアダプターを差し込みます。
- 本機を長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから外してください。

! DCプラグを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってから行ってください

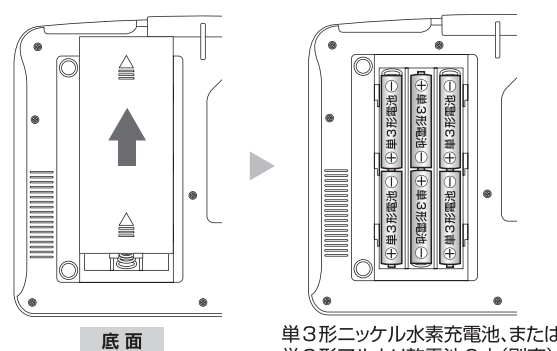


※付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電池で使う場合

映画など長時間のDVD再生時は、ニッケル水素充電電池での使用をおすすめします。

- 1 本機底面の電池カバーを矢印の方向にスライドさせて外します。
- 2 単3形ニッケル水素充電電池または単3形アルカリ乾電池6本(別売)を、極性(⊕⊖)に注意しながら入れます。コイルバネがあるほうが⊖です。⊖側から先に装着してください。
- 3 電池カバーのツメを、本体のスリット穴と合わせた後、ステップ①と逆の方法にスライドさせて元通りにしっかりと閉めます。



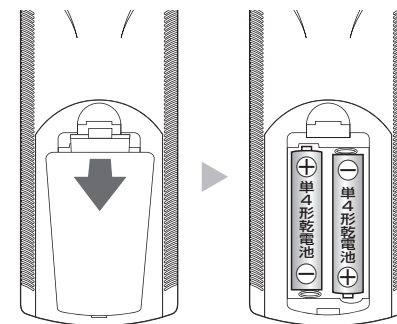
ニッケル水素充電電池での連続再生可能時間は約3時間です(弊社ニッケル水素充電電池 2000mA×6本使用の場合)。また、アルカリ乾電池での連続再生可能時間は約2時間です。

- 本製品には充電機能はありません。充電を充電する場合は、本製品から取り出し、ご使用の充電機に適合する市販の専用充電器をお使いください。
- 充電の際は、充電機及び充電器に付属する取扱説明書や注意書きに従って行ってください。
- ニッケル水素充電電池やアルカリ乾電池での連続再生可能時間は目安であり、使用条件や電池の種類、状況により異なります。また、再生途中での電池切れを防ぐため、ディスクの収録時間も合わせ確認してご利用ください。
- マンガン乾電池ではご使用になれません。

■ リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

- 1 リモコン背面の電池ぶたのツメを押しながら下げて開けます。
- 2 単4形乾電池2本(別売)を、極性(⊕⊖)に注意しながら入れます。コイルバネがあるほうが⊖です。⊖側から先に装着してください。
- 3 電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。

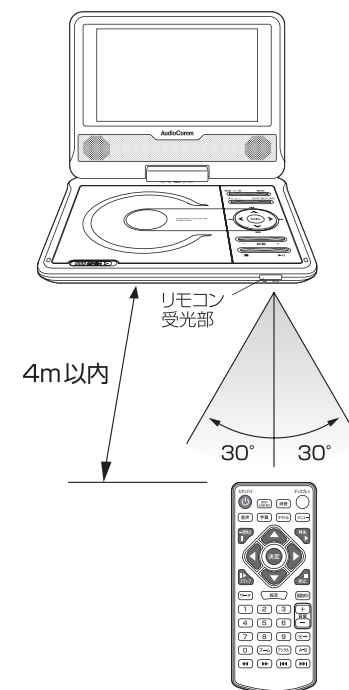


リモコンによる操作

- リモコンの信号送信部を本機のリモコン受光部(電源ランプの隣に内蔵)に向けて操作してください。
- 使用範囲は、本機のリモコン受光部から上下左右30°以内、直線距離4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
- 直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。

ご注意

リモコンは暖房器具付近、ダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの吹出口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。※他社製品を動作/作用させる可能性がありますのでご注意ください。



■ご使用になれるメディアについて

DVDとCDについて

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

ディスクタイプとマーク	記録内容	ディスクサイズ	ディスクフォーマット
DVD-Video DVD±R/RW 	映像+音声 (主に映画)	12cm	ISO9660+JOLIET、 UDF、 UDFBridge ※DVD-R/RW及び CD-R/RWの場合
オーディオCD(音楽用CD) CD-R/RW 	音声(音楽) WMA/MP3 画像 JPEG	12cm または 8cm (シングルCD)	


このマークは、DVDビデオディスクの統一マークです。


このマークは音楽用CDの統一マークです。

- 本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと、直径8 / 12cmのオーディオCD、MP3またはJPEGデータを記録したCD-R/RWのみです。これらのディスク以外は再生できません。
- お客様が作成したディスクは、書き込みスピード、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生できない場合があります。
- 本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。

本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。

読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは？

CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。

デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限があります。例えば「ダビング10」の場合、録画した番組を他のデジタル機器に9回までコピー(ダビング)することが可能で、10回目はムーブ*(移動)のみ可能となります(すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません)。

DVDにこうした番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー(HDD搭載モデルを含む)とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで、初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができます。

また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは？

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、下図の違いがあります。DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです(互換性=高)。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVD-R/DVD-RW VRモード 本書中で右の表示があった場合は、VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを本機で再生するときにも使用できる機能を示しています。

リージョンコード(国番号)について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。

「ALL」と「2」(または「2」を含むもの)が表示されたディスクの再生が可能です。



このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

再生できないディスク

下記のディスクは再生できません。

- ・リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
- ・DVD-ROM
- ・Video-CD
- ・DVD-Audio
- ・BD(ブルーレイディスク)
- ・CD-I
- ・CVD
- ・特殊形状のディスク(ハート形など)や汚れ、キズのあるディスク
- ・CD-ROM
- ・DVD-RAM
- ・PD
- ・HD DVD
- ・CD-G(CDグラフィクス)
- ・SACD(ハイブリッドディスク)※1

※1 通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができますが、スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません。

※AVCHDやAVCRECには対応しておりません。

その他の注意事項

- シングルCD用アダプターは使わないでください。故障の原因となります。
- 記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)は再生できない場合があります。
- ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、そしてMP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。
- ファイナライズ済みのDVD-R / DVD+R / DVD-RW / DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能ですが、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込み、ファイナライズ処理を行ってください。
- DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは再生できません。
- DOLBY Digitalでのみ録音されているディスクは再生できません。
- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

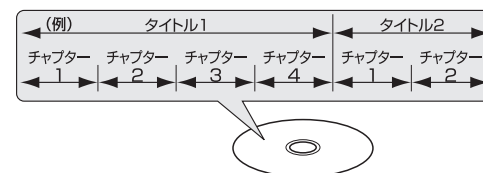


ディスクの構成について

DVD 

DVDビデオディスクは一般に「タイトル」と「チャプター」で構成されています。

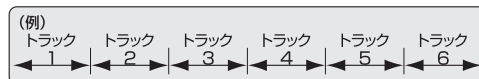
- ・「タイトル」とは、例えば複数の映画を収録した内容のうち、各映画ごとの区切りを指します。
- ・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。



ご使用になれるメディアについて(つづき)

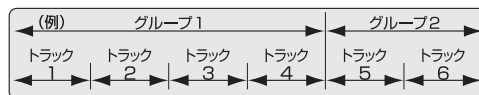
オーディオCD(音楽用CD)

オーディオCDは一般に「トラック」で区切られています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の音楽が入っている場合、曲ごとの区切りを指します。



CD-R/CD-RW(JPEG ファイル形式)

JPEG ファイル形式のデータは「グループ(フォルダー)」と「トラック(ファイル)」に区切られて構成されています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
・「グループ(フォルダー)」とは、いくつかのトラック(ファイル)をまとめたものを指します。



ディスク取扱い上の注意

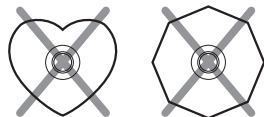
- 再生面に触れないように持ってください。



- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



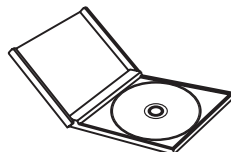
- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



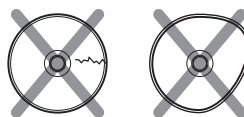
- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



- 長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



- ひび割れや変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



USBフラッシュメモリとSDカードについて

本機ではUSBフラッシュメモリ及びSDカードに記録された音声や映像、静止画を再生できます。再生可能なメディアの仕様は以下の通りです。

メディア	ファイルシステム	メディア容量
USBフラッシュメモリ	FAT, FAT16, FAT32対応 (USB2.0対応)	最大32GBまで
SDカード	FAT, FAT16, FAT32対応	最大32GBまで

USBフラッシュメモリ及びSDカードに関するご使用上の注意点

- 本機のUSBフラッシュメモリ端子はUSBフラッシュメモリ専用です。それ以外のUSB機器を接続すると、機器の故障やデータを消失失することがありますので、絶対に接続しないでください。
- USBフラッシュメモリ及びSDカードに記録するファイル容量は1ファイル当たり最大4GBまでにしてください。
- データ消失を防ぐため、ご使用の前にUSBフラッシュメモリやSDカード内のデータを他のメディアにバックアップしてください(弊社ではメディアの破損、データの消失などに関して一切の責任を負いません)。
- USBフラッシュメモリやSDカードを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切った上で行ってください。
- USBフラッシュメモリやSDカードを装着する際は、表裏を十分確認の上、正しい向きで差し込んでください。
- 装着時、取り外し時に無理な力を加えると、本機の接続部やUSBフラッシュメモリ、SDカードを破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

ファイル形式や再生などに関する注意点

共通事項

- 多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを早くするには、以下を参考にしてください。
 - ・メディア内の階層は8階層までにする
 - ・メディア内のファイル数は50000以下にする
 - ・メディア内のフォルダー数は64以下にする
- フォルダーによって階層化されたCD-R/RWやUSBフラッシュメモリ、SDカードをセットした場合、本機では最初に全ファイルを並列的にリスト表示します。フォルダーでの操作はP.36を参照してください。
- 日本語のファイル名は正しく表示されない場合があります。ファイル名には半角英数字を使用することをおすすめします(半角英数字10文字以内)。
- DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが故障ではありません。

映像ファイルについて

最大解像度	720(横)×576(高さ)ピクセル
ファイル形式	MPEG-1, MPEG-2, MPEG-4

- 上記のファイル形式であっても、ファイルによって再生できない場合があります。また、以下の場合も再生できない場合があります。
 - ・2つ以上のファイルを結合した映像ファイル
 - ・最大解像度を超える大きさの映像ファイル
 - ・4GB以上の映像ファイル
 - ・3時間以上の映像ファイル
- データCD上の高ビットレートの映像ファイルは滑らかに再生できない場合があります。データDVDの使用をおすすめします。
- 映像ファイルによっては、映像が乱れたり、音飛びがするなど、滑らかに再生できないことがあります。そのようなときは低いビットレートでファイルを作成することをおすすめします。それでも音声が乱れる場合は音声形式が適切であるか確認してください(MPEG-4ビデオ形式の場合はAAC LC形式)。
- USB1.1/1.0のUSBフラッシュメモリに記録された映像ファイルは正常に再生されない場合があります。DVD、またはUSB2.0のUSBフラッシュメモリでのご利用をおすすめします。
- MPEG-4 AVC / MP4 / RMVB / MKVなどの映像ファイルは再生できません。
- GMC(Global Motion Compensation)やQpel(Quarter pixel)で記録された映像ファイルの再生は保証していません。

■ ご使用になれるメディアについて(つづき)

MP3、WMA オーディオファイルについて

ファイル形式	.wma、.mp3
サンプリング周波数	20Hz～20kHz(WMA)
ビットレート	8～320kbps(WMA)

- コピープロテクト(DRM)のあるファイルは再生できない場合があります。
- WMA 及び AAC オーディオフォーマットは再生できない場合があります。

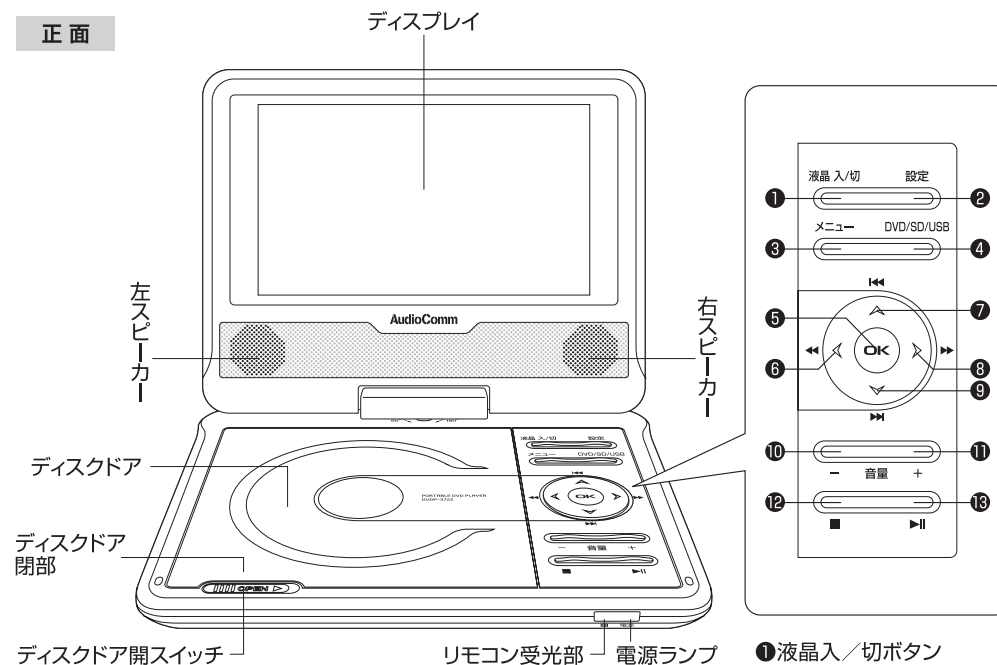
静止画像ファイルについて

ファイル形式	.jpg、.jpeg
推奨サイズ	14000×8902ビット/ピクセル以下

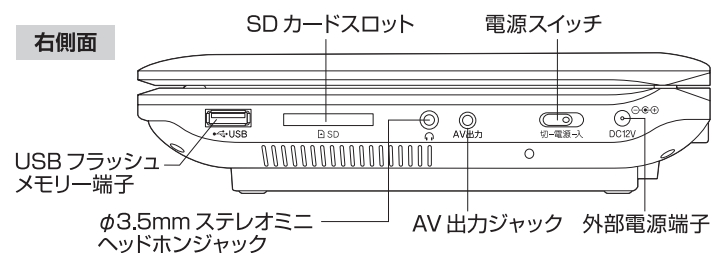
- プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できない場合があります。

■ 各部の名称

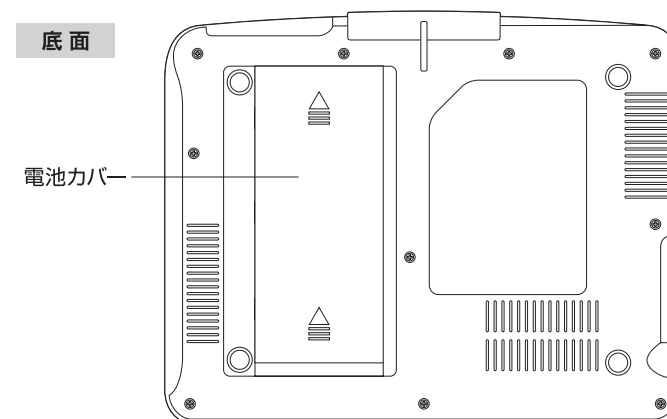
正面



右側面



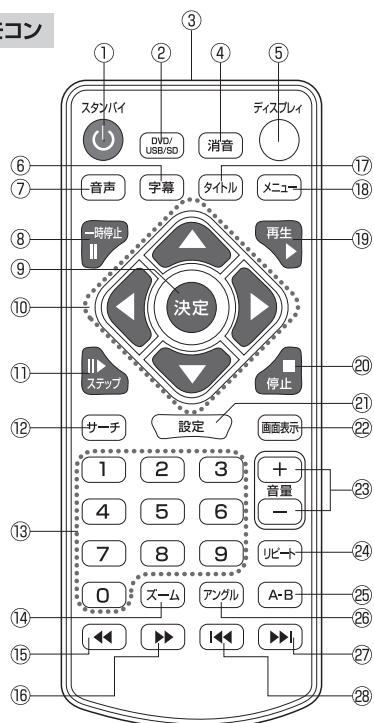
底面



- ① 液晶入/切ボタン
- ② 設定ボタン
- ③ メニューボタン
- ④ メディア切換ボタン
- ⑤ 決定ボタン
- ⑥ 早戻しボタン
- ⑦ スキップ (⏮) ボタン
- ⑧ 早送りボタン
- ⑨ スキップ (⏭) ボタン
- ⑩ 音量ボタン (-)
- ⑪ 音量ボタン (+)
- ⑫ 停止ボタン
- ⑬ 再生/一時停止ボタン

※⑥～⑨はカーソルボタン (◀/▶/⏮/⏭) の機能も兼ねています。

リモコン



- ①スタンバイボタン
スタンバイ⇄電源オンを切り換えます。
- ②メディア切換ボタン
再生するメディアを切り換えます。
- ③信号送信部
この部分を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ④消音ボタン
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。
- ⑤ディスプレイボタン
ディスプレイ表示のオン/オフを切り換えます。
- ⑥字幕ボタン
字幕を切り換えます(対応ディスクのみ)。
- ⑦音声ボタン
好みの音声言語を選択します(対応ディスクのみ)。
- ⑧一時停止ボタン
再生を一時停止します。
- ⑨決定ボタン
選択を確定させるときに押します。

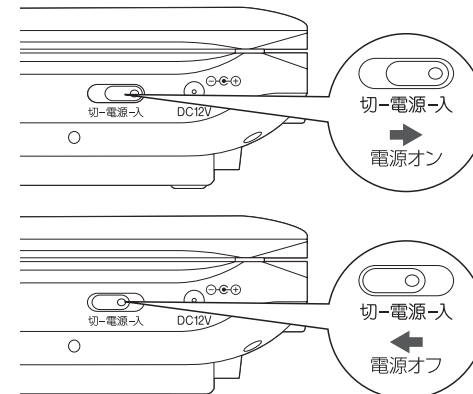
- ⑩カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使用します。
- ⑪ステップボタン
コマ送りで再生するときに押します。
- ⑫サーチボタン
観たい場面を指定して再生するときに使用します。
- ⑬数字ボタン
数字を入力するときに使用します。
- ⑭ズームボタン
拡大・縮小表示するときに使用します。
- ⑮早戻しボタン
早戻しをします。押すたびに戻すスピードが増します(最大32倍まで)。
- ⑯早送りボタン
早送りをします。押すたびに送るスピードが増します(最大32倍まで)。
- ⑰タイトルボタン
タイトルメニューを表示します(対応ディスクのみ)。
- ⑱メニューボタン
ディスクメニューを表示します(対応ディスクのみ)。
- ⑲再生ボタン
再生を開始します。
- ⑳停止ボタン
再生を停止します。
- ㉑設定ボタン
セットアップメニューを表示します。
- ㉒画面表示ボタン
再生しているメディアの情報を表示します。表示内容はメディアにより異なります。
- ㉓音量ボタン(+/-)
出力される音量を調節します。
- ㉔リピートボタン
繰り返し再生をします。
- ㉕A-Bボタン
範囲を指定して繰り返し再生をします。
- ㉖アングルボタン
アングルを切り換えます(対応ディスクのみ)。
- ㉗スキップボタン(▶▶)
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター(トラック)にジャンプして再生を始めます。
- ㉘スキップボタン(◀◀)
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター(トラック)に戻って再生を始めます。

電源スイッチの操作

本機右側面の電源スイッチを「入」の位置に合わせると、電源ランプが赤く点灯して電源が入り、「AudioComm」の画面が表示されます。続いて「ロード中」と表示されてメディアの読み込みが始まり、何もメディアが入っていない場合は「ディスクなし」と表示されます。



電源を切るときは電源スイッチを「切」に合わせます(電源ランプが消灯します)。



リモコンのスタンバイボタンについて

- 本機の電源スイッチが入っているときにリモコンのスタンバイボタンを押すと、再生などが中止されてディスプレイが消え、スタンバイモードになります。
- この状態でスタンバイボタンをもう一度押すと、電源が入り「AudioComm」の画面が表示されます(前回メディアを再生していたときは再生を再開します。ディスクが入っていない場合は「ロード中」に続いて「ディスクなし」と表示されます)。

※本機の電源が切れているときは、リモコンでの操作はできません。

ご注意

- スタンバイモードでも電源ランプが赤く点灯し、電力(乾電池)を消費します。節電や乾電池の消耗を防ぐためにも、使わないときは本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから外し、本機及びリモコンの充電電池や乾電池も取り外してください。
- リモコンのスタンバイボタンを押して電源を入れた場合は、起動に数秒間がかかります。



画面焼けを防止するために(スクリーンセーバーと自動スタンバイモードについて)

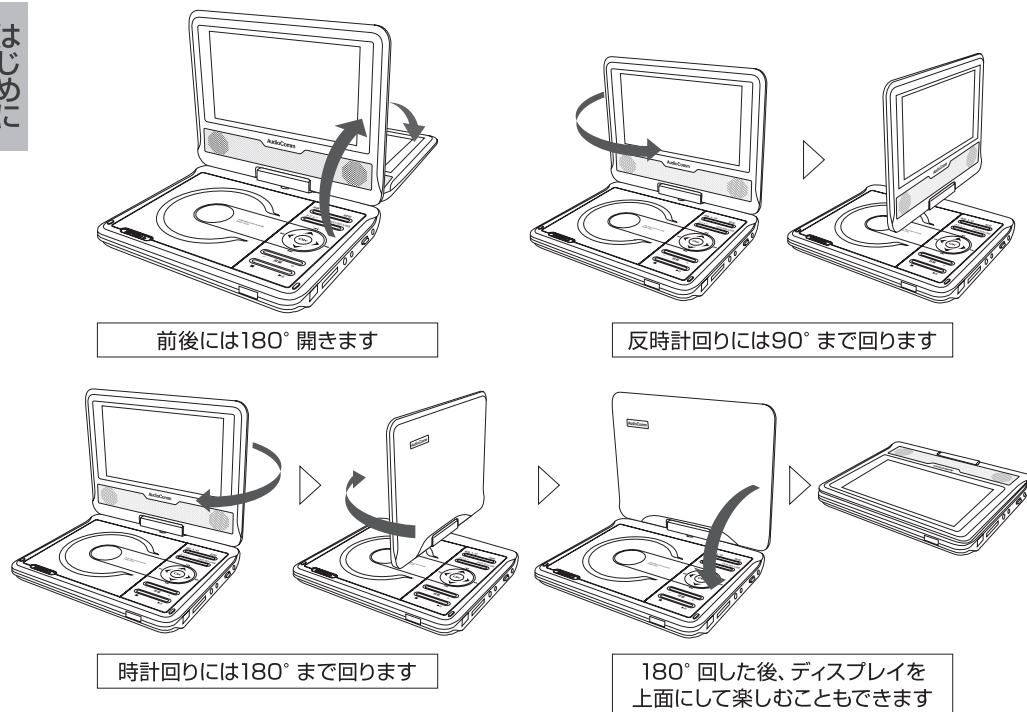
- 本機は、ディスプレイの画面焼けを防ぐため、スクリーンセーバー機能と自動スタンバイモード機能を装備しています。停止状態が約3分30秒間続くと自動的にスクリーンセーバーモードになり、30分後にはスタンバイモードになります(ただし、セットアップメニュー表示中は、両機能が有効になりませんのでご注意ください)。
- 音楽や音声を聴いているときなどは、ディスプレイボタン(本機では液晶入/切ボタン)を押し、ディスプレイ表示をオフにすることで画面焼けを防ぐことができます。

ディスプレイについて

ディスプレイの角度調節方法

本機のディスプレイは様々な角度に調整可能です。見やすい角度に調節してお楽しみください。

はじめに



ご注意

- ディスプレイを調節するときは、本体を抑え、ゆっくり丁寧に動かしてください。急激な力を加えると、軸部などが破損するおそれがあります。
- ディスプレイが斜めの状態で左右に回転させると、本機を傷つけるおそれがあります。必ず垂直に立ててから回転させてください。
- 開閉時・回転時に指などを挟まないようにご注意ください。
- 液晶画面は高精度な技術で作られています。希に黒い点が表れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。が故障ではありません。
- 液晶画面上に物を載せたり、落としたりしないでください。また、手や肘をついて体重をかけたり、カッターなど鋭利な刃物で傷つけたりしないでください。故障の原因となります。

ディスプレイの表示・非表示について



電源が入っているときにディスプレイボタン(本機では液晶入/切ボタン)を押すと、ディスプレイの表示/非表示を切り換えることができます。例えば音楽再生を長く続ける場合などは、非表示にしておくことで省電力や乾電池の消耗抑制につながります。

ご注意

- ディスプレイを非表示にすることにより、電源のオン・オフやスタンバイモードかどうか分かりにくくなることがあります。電源ランプや本機の状態を確認し、使わないときは、本機の電源スイッチで電源を切ることをおすすめします。

セットアップメニューの概要

本機はお買い上げのままで再生できますが、映像・音声の出力方式やメディアの再生について、様々なオプションの設定ができます。

ご注意

- セットアップメニューの設定はメディアを装着しない状態で行ってください。メディアを装着した状態では、一部の項目の設定ができません。
- 本機で設定を行っても、ディスクに記録されている内容によって機能が有効にならない場合があります。

設定一覧

【一般設定】	掲載ページ	概 要	設定可能項目
画面モード	P.19	ディスプレイの映像表示モードを設定	・4:3パンスキャン ・4:3レターボックス ・ワイド
アングルマーク	P.20	アングルマーク表示のオン/オフを設定	・オン ・オフ
画面表示言語	P.20	セットアップメニューなどの表示言語を設定	・英語 ・日本語
スクリーンセーバー	P.21	スクリーンセーバーのオン/オフを設定	・オン ・オフ
ラストメモリー	P.21	ラストメモリーのオン/オフを設定	・オン ・オフ

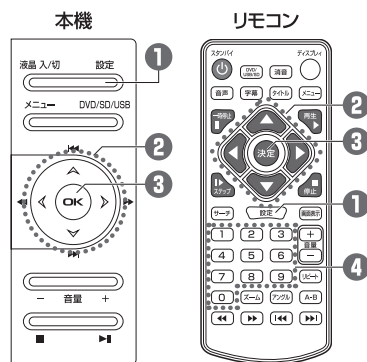
【音声設定】	掲載ページ	概 要	設定可能項目
スピーカー設定	P.22	スピーカーの出力方法を設定	・LT / RT ・ステレオ

【映像設定】	掲載ページ	概 要	設定可能項目
TV映像設定	P.22	外部テレビ接続時の画質を調整	シャープネス、明るさ、コントラストを調整
本機映像設定	P.23	本機ディスプレイの画質を調整	シャープネス、明るさ、コントラストを調整

【その他の設定】	掲載ページ	概 要	設定可能項目
テレビ信号方式	P.23	テレビの信号方式を設定 ※通常は変更しないでください。	・PAL TV ・マルチ ・NTSC TV
音声設定	P.24	音声の言語を設定	・英語 ・フランス語 ・スペイン語 ・ロシア語 ・イタリア語 ・日本語 ・ドイツ語 ・ポルトガル語 ・トルコ語
字幕言語	P.24	字幕の表示言語を設定	・英語 ・フランス語 ・スペイン語 ・ロシア語 ・イタリア語 ・日本語 ・ドイツ語 ・ポルトガル語 ・トルコ語
視聴制限	P.25	DVDソフトの視聴制限レベルを設定	KID SAF~ADULTまで 8段階で設定
パスワード	P.26	パスワードを変更	※パスワード変更画面へ
初期化	P.27	設定内容を工場出荷時の状態に戻す	

設定

セットアップメニュー操作時のボタン機能



セットアップメニューの設定は、設定ボタンとカーソルボタン、決定ボタン、数字ボタンで操作できます。
※各項目の設定方法は、それぞれのページをご参照ください。

- 設定ボタン**
セットアップメニューを表示します。設定途中で押すと、操作を終了してトップ画面に戻ります(メディア再生中にセットアップメニューの操作を始めたときは、設定終了後、再生を再開します)。
- カーソルボタン(◀/▶/▲/▼)**
項目を選んだり、カーソルを移動させるときに使います。
- 決定ボタン**
選択した内容を確定させるときに押します。
- 数字ボタン**
パスワード設定などで数字を入力するときに使います。

画面モードの設定方法

ディスプレイの映像表示モードを設定します(初期設定:「ワイド」)。

- 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する**
一般設定
画面モード ワイド
アングルマーク オン
画面表示言語 日本語
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン
- カーソルボタン(▼)を押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す**
現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。
一般設定
画面モード ワイド 4:3パンスキャン
アングルマーク オン 4:3レターボックス
画面表示言語 日本語 ワイド
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン
- カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す**
カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。
一般設定
画面モード LB 4:3パンスキャン
アングルマーク オン 4:3レターボックス
画面表示言語 日本語 ワイド
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン

4:3パンスキャン

16:9の映像は、左右が切れた映像で表示します(パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します)。



4:3レターボックス

16:9の映像は、上下に帯のある映像で表示します。



ワイド

ディスプレイ全体に映像を映します。



※通常のDVDの画像比率は16:9です。
※地デジ対応テレビの画像比率は16:9です。

- ヒント**
- ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
 - ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

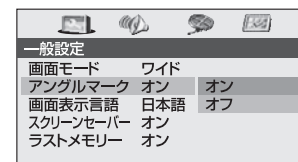
アングルマークの設定方法

アングルマーク表示のオン/オフを設定します(初期設定:「オン」)。

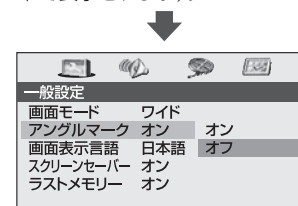
- 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する**
一般設定
画面モード ワイド
アングルマーク オン
画面表示言語 日本語
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン
- カーソルボタン(▼)を押して「アングルマーク」を選び、決定ボタンを押す**
一般設定
画面モード ワイド
アングルマーク オン オン
画面表示言語 日本語 オフ
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン

現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

- カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す**



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。



決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

- ご注意** ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。

- ヒント**
- ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
 - ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

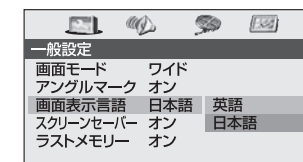
画面表示言語の設定方法

セットアップメニューや再生操作時の表示言語を設定します(初期設定:「日本語」)。

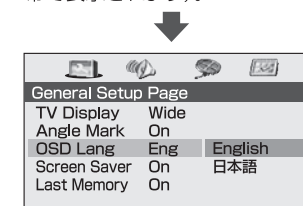
- 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する**
一般設定
画面モード ワイド
アングルマーク オン
画面表示言語 日本語
スクリーンセーバー オン
ラストメモリー オン
- カーソルボタン(▼)を押して「画面表示言語」を選び、決定ボタンを押す**
一般設定
画面モード ワイド
アングルマーク オン
画面表示言語 日本語 英語
スクリーンセーバー オン 日本語
ラストメモリー オン

現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

- カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す**



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

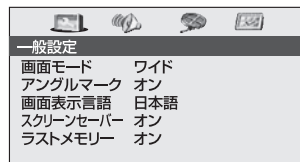


決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、英語表示になります。

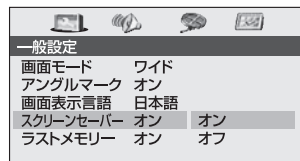
スクリーンセーバーの設定方法

スクリーンセーバーのオン/オフを設定します(初期設定:「オン」)。

1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する

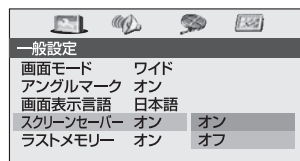


2 カーソルボタン(▼)を押して「スクリーンセーバー」を選び、決定ボタンを押す

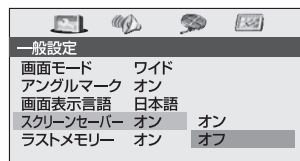


現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。



決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

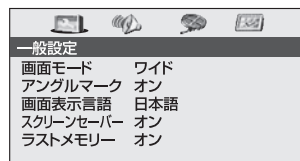
ご注意 ディスプレイの画面焼けを防止するため、スクリーンセーバーは「オン」の状態でご使用ください。

ヒント ●ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
●設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

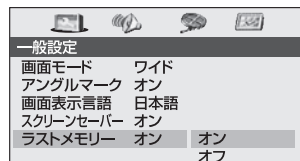
ラストメモリーの設定方法

ラストメモリーをオンにしておくと、再生停止後に電源を切っても、次回再生時に前回見ていた続きから再生を開始できます(初期設定:「オン」)。ただし、停止ボタンを2回続けて押した場合は無効になります。

1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する

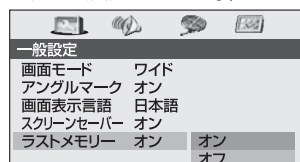


2 カーソルボタン(▼)を押して「ラストメモリー」を選び、決定ボタンを押す

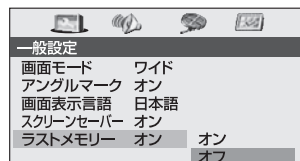


現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。



決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

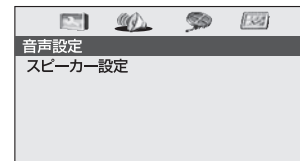
スピーカー設定の操作方法

スピーカーの出力方法を選ぶことができます(初期設定:「STR」)。

1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



2 カーソルボタン(▶)を押して「音声設定」を選ぶ

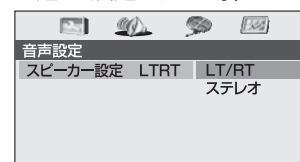


3 カーソルボタン(▼)を押して「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを押す



現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。

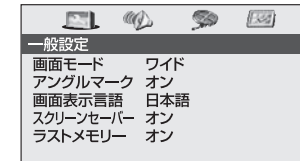
LT/RT	左右独立して音声が出ます。
ステレオ	通常のステレオ音声で出力します。

ヒント ●ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
●設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

TV映像設定の操作方法

外部テレビに映像を出力する際の画質を調整します。
※本機ディスプレイに映し出される映像には影響がありません。本機ディスプレイの画質を調整するには、次項の「本機映像設定」をご参照ください。

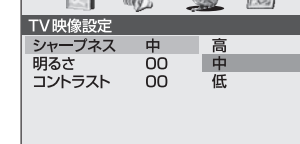
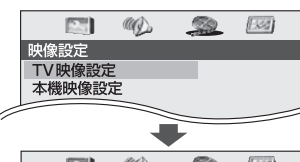
1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(▼)を押して「TV映像設定」を選び、決定ボタンを押す



4 カーソルボタン(▼)を押して調整したい項目を選び、調整する

シャープネスの調整方法(初期設定:「中」)
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▲/▼)を数回押して項目を選び、決定ボタンを押す。

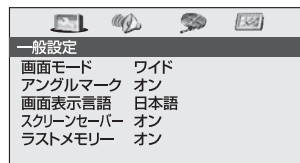
明るさ、コントラストの調整方法(初期設定:「00」)
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▲/▼)を数回押して数値を選び、決定ボタンを押す。
明るさは+20~-20の間で、コントラストは+16~-16の間で調整できます。

※明るさ、コントラストの調整ではカーソルボタン(◀)でひとつ前に戻る機能はありません。

■ 本機映像設定 の操作方法

本機ディスプレイの画質を調整します。

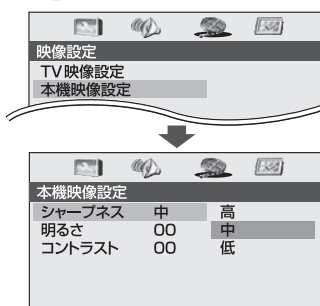
- 1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



- 2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(▼)を押して「本機映像設定」を選び、決定ボタンを押す



- 4 カーソルボタン(▼)を押して調整したい項目を選び、調整する

シャープネスの調整方法 (初期設定: 「中」)
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▲/▼)を数回押して項目を選び、決定ボタンを押す。

明るさ、コントラストの調整方法 (初期設定: 「00」)
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(◀/▶)を数回押して数値を選び、決定ボタンを押す。
明るさは+20〜-20の間で、コントラストは+16〜-16の間で調整できます。

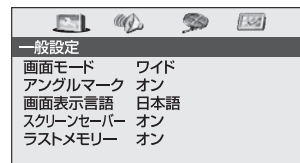
※明るさ、コントラストの調整ではカーソルボタン(◀)でひとつ前に戻る機能はありません。

- ヒント**
- ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
 - ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

■ テレビ信号方式 の設定方法

テレビの信号方式を設定します(初期設定: 「NTSC」)。

- 1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



- 2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

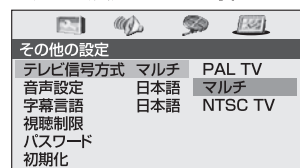


- 3 カーソルボタン(▼)を押して「テレビ信号方式」を選び、決定ボタンを押す



現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

- 4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



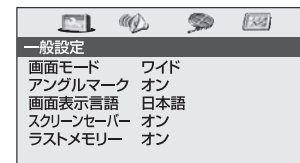
カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。

- ご注意** 本機の映像信号出力は、日本のカラーテレビ方式であるNTSCに設定されています。本機ディスプレイはPAL TV、マルチ、NTSC TVのいずれでも再生できますが、外部テレビに映像を出力する際は、必ずマルチまたはNTSC TVに設定してください。

■ 音声設定 の操作方法

音声の言語を設定します(初期設定: 「日本語」)。

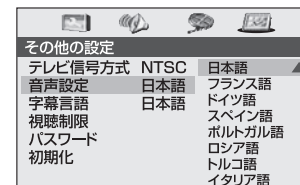
- 1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



- 2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(▼)を押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

- 4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。言語一覧に▲▼がある場合、上下の欄外にさらに選択可能項目があることを示しています。

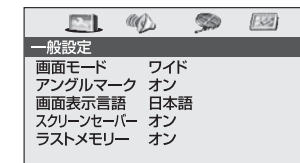
- ご注意** ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。

- ヒント**
- ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
 - ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

■ 字幕言語 の設定方法

字幕の言語を設定します(初期設定: 「日本語」)。

- 1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



- 2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(▼)を押して「字幕言語」を選び、決定ボタンを押す



現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

- 4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す



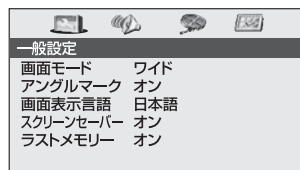
カーソルボタン(▲/▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。言語一覧に▲▼がある場合、上下の欄外にさらに選択可能項目があることを示しています。

- ご注意** ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。

■ 視聴制限の設定方法

市販されているDVDソフトには、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴制限レベルが設定されているものがあります。本機ではディスクに応じて視聴制限をかけることができ、お子様が設定を変えることのないようパスワードで保護します(初期設定:「4 PG 13」)。

1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(▼)を押して「視聴制限」を選び、決定ボタンを押す

現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。



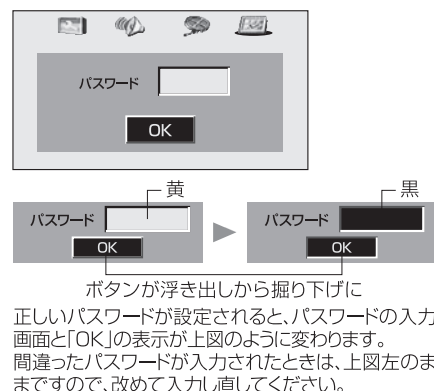
4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す

「1 KID SAF」が最も制限が厳しく、子供向けDVDのみ視聴できる設定です。「8 ADULT」は制限が緩くなります。

1 KID SAF	子供向け
2 G	制限なし
3 PG	親と一緒に子供視聴可能
4 PG 13	親と一緒に13歳以下視聴可能
5 PGR	成人と一緒に視聴可能
6 R	親、成人と一緒に17歳以下視聴可能
7 NC17	17歳以下は視聴不可
8 ADULT	成人向け

5 数字ボタンでパスワードを入力し、決定ボタンを押す。

- 工場出荷時(初期設定)のパスワードは「5168」です。
- 入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると、「×」がすべて消えます。
- 途中で数字の入力を間違えた場合は、カーソルボタン(▼)を2回押して数字を消した後に入力し直すか、設定ボタンを押してトップ画面に戻り、ステップ1からやり直してください。
- パスワードを変更したい場合は、次項の「パスワードの変更方法」を参照してください。

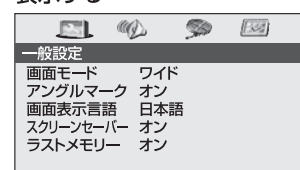


- ヒント**
- ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。
 - ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

■ パスワードの変更方法

パスワードを変更することができます(初期設定:「5168」)。

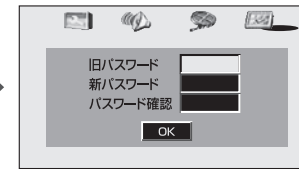
1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ



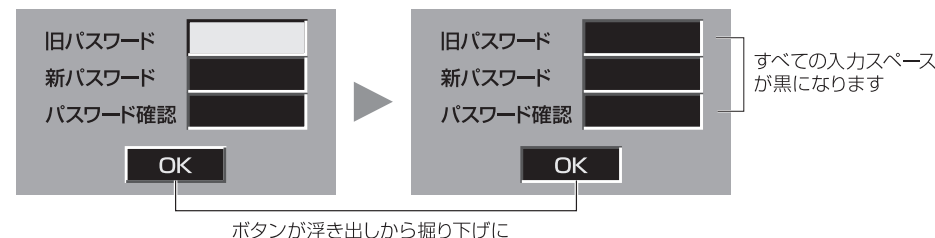
3 カーソルボタン(▼)を押して「パスワード」を選び、決定ボタンを2回押す



パスワードの設定画面が表示されます。

4 数字ボタンを使って「旧パスワード」と「新パスワード」、「パスワード確認」にそれぞれ4ケタのパスワードを入力する

- 工場出荷時(初期設定)のパスワードは「5168」です。
- 入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると「×」がすべて消え、次の入力欄に移動します(「旧パスワード」に間違った数字を入力した場合は移動しません)。
- 誤って数字を入力した場合は、カーソルボタン(▼)を2回押して数字を消した後に入力し直すか、設定ボタンを押してトップ画面に戻り、ステップ1からやり直してください。
- 「パスワード確認」には「新パスワード」と同じ数字を入力してください。すべてが正しく入力されると、表示が下記のように変わります。



5 決定ボタンを押す

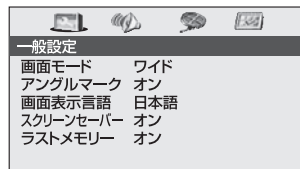
設定が確定します。

- ヒント**
- ステップ3ではカーソルボタン(▶)を押し、続いて決定ボタンを押しても同様の操作ができます。
 - 設定完了後や操作を中止するときは、設定ボタンを押します。

■ 初期化の操作方法

本機を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 設定ボタンを押してセットアップメニューを表示する



- 2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(▼)を押して「初期化」を選び、決定ボタンを2回押す



「リセット」の背景色が茶色から緑色に変わり、続いて初期化が行われます。初期化が終了すると、トップ画面に戻ります。

ヒントとご注意

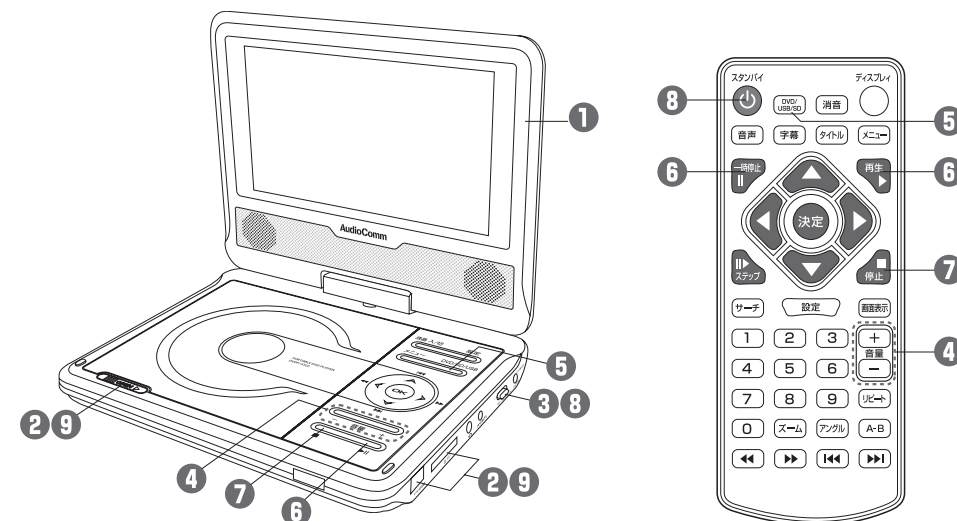
- 途中で設定操作を中止する場合は、設定ボタンを押してください(トップ画面に戻ります)。
- ステップ3ではカーソルボタン(▶)を押し、続いて決定ボタンを押しても同様の操作ができます。
- ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。
- 初期化を行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので十分ご注意ください。

■ 映像再生時の基本操作

DVD-R/DVD-RW
VRモード

DVD、USBフラッシュメモリー、SDカードに記録された映画・音楽映像・映像記録などを再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP9～13をご確認ください。
※対応するメディアやファイル形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。
- P7～8を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続(または充電電池／乾電池の装着)を正しく行ってから以下の操作をしてください。
- 本機画面のイラストは、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものと異なる場合があります。また、画面表示の設定により、イラスト内のマークや文字の内容、表示場所が異なる場合があります。



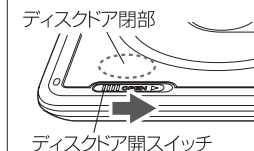
映像を観る

- 1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

- 2 本機にメディアをセットする

ディスクの場合

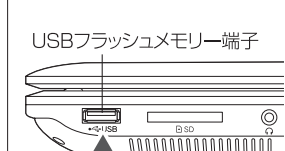
ディスクドア開スイッチを右にスライドさせてディスクドアを開け、ディスクをセットする



レーベル面(印刷面)を上にしてセットし、その後、ディスクドア閉部を押しながら手で閉めます。

USBフラッシュメモリーの場合

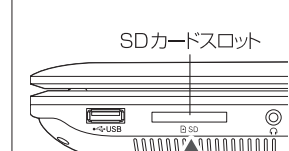
USBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む



電源を入れる前にセット
差し込む向きに十分ご注意ください。

SDカードの場合

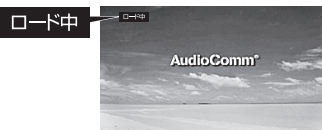
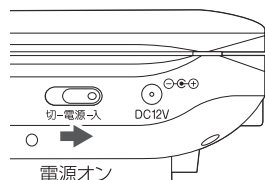
SDカードスロットにSDカードを差し込む



電源を入れる前にセット
差し込む向きに十分ご注意ください。

3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる

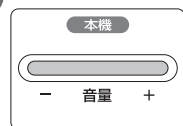
AudioCommのロゴが表示され、ディスク(DVDまたはCD)の読み込みが始まります(「ロード中」と表示されます)。ディスクの読み込みが完了すると自動再生が始まります。ディスクが装着されていないときや認識できない場合は、「ディスクなし」と表示され、USBフラッシュメモリー→SDカードの順番で、同様に読み込まれます。



「ロード中」と表示されて読み込みが始まり、その後自動的に再生が始まります。

- ヒント**
- USBフラッシュメモリーとSDカードは電源を入れる前にセットしてください。ディスクの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。
 - メディアによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
 - DVDの2層ディスクを再生しているとき、映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

4 音量ボタン(+/-)で音量を調節する



00~20の間で調節できます。

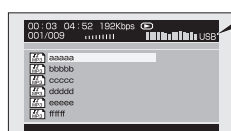
音量 15 音量を表示

ご注意
音量の上げすぎにご注意ください。

5 複数のメディアを装着し、再生するメディアを切り換えるときは、メディア切換ボタンを数回押す



押すたびにメディアが切り換わります。正しく読み込まれると再生が始まります。



再生中のメディアがディスプレイの右上に表示されます(DISCは表示されない場合があります)。

6 再生を一時停止するには

本機…再生/一時停止ボタンを押す
リモコン…一時停止ボタンを押す



再生を再開するには、本機の再生/一時停止ボタンをもう一度押すか、リモコンの再生ボタンを押します。
※ディスクによっては、決定ボタンで再生を再開するものもあります。

7 再生を停止するには

停止ボタンを押す



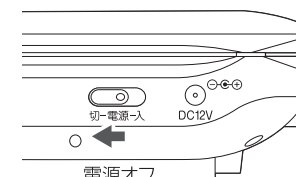
ヒント

- 停止ボタンを1回押すと再生が止まります。この状態で再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、停止したところから続きを再生します。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。
- メディアによっては1回の停止操作で完全停止になるものもあります。

8 終了するときは、リモコンのスタンバイボタンを押すか本機の電源スイッチを「切」に合わせる



●USBフラッシュメモリーやSDカードを取り外すときは、必ずスタンバイ状態にするか、電源を切った後で行ってください。



9 各メディアを取り出すには

ディスクの場合

ディスクドア開スイッチを右にスライドさせてディスクドアを開け、ディスクを取り出す



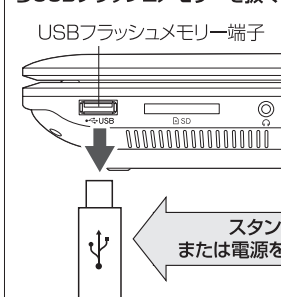
ディスクドア開スイッチ



回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

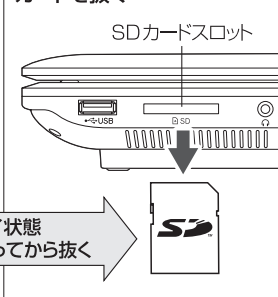
USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子からUSBフラッシュメモリーを抜く



SDカードの場合

SDカードスロットからSDカードを抜く



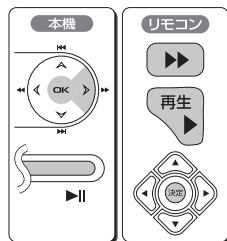
スタンバイ状態
または電源を切ってから抜く

- ご注意**
- ディスクによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができないことがあります。その場合は、リモコン側で操作してください。
 - ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声にノイズが入ったり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
 - 再生プログラムを備えたDVDは、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
 - フォルダーによって階層化されたメディアをセットした場合、本機では最初に全ファイルを並列的にリスト表示します。フォルダーでの操作はP.36を参照してください。
 - 本機での再生に適していないメディアは、読み込み動作後に「ディスクなし」と表示されます。また、読み込み後でも、再生できないファイルは「対応していないファイルです」と表示されます。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
 - 使わないときは本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長時間使わないときは、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機及びリモコンの充電電池/乾電池も取り外してください。
 - 本機から取り外したメディアは、専用ケースに入れるなどして大切に保管してください。

■ 早送り・早戻し

DVD-R/DVD-RW
VRモード

早送り



再生中に早送りボタンを押すと早送りができます。

●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。

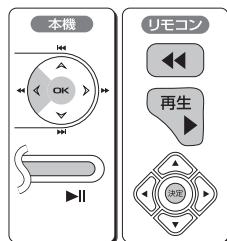
●通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン(本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン)を押します。

※早送り中は音声は出ません。

※タイトルをまたぐ早送りはできません。



早戻し



再生中に早戻しボタンを押すと早戻しができます。

●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン(本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン)を押します。

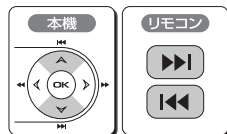
※早戻し中は音声は出ません。

※タイトルをまたぐ早戻しはできません。



■ スキップ(▶▶/◀◀)

DVD-R/DVD-RW
VRモード



●再生中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次のチャプターに進んで再生します。

●再生中にスキップボタン(◀◀)を押すと、前のチャプターに戻って再生します。



この表示のあと次のチャプターの再生が始まります。



この表示のあと前のチャプターの再生が始まります。

■ ステップ(コマ送り)

DVD-R/DVD-RW
VRモード



再生中にステップボタンを押すと、コマ送り再生になり、押すたびに1コマずつ映像が送られます。元に戻すには、再生ボタンまたは決定ボタンを押してください。



■ 消音

DVD-R/DVD-RW
VRモード



再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。



ミュート

■ サーチ

サーチ機能を使うと好きな場面を指定して再生することができます。再生中または一時停止中に操作してください。

チャプター番号を指定して再生する



サーチボタンを1回押し、数字ボタンでチャプター番号を入力します。正しく入力すると自動的に指定したチャプターから再生が始まります。



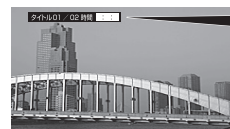
タイトル01 / 02 チャプター 32

1ケタの番号を入力する時は頭に0をつけて入力します。

タイトル内の時間を指定して再生する



サーチボタンを2回押し、数字ボタンで再生したい位置の時間を入力します。正しく入力すると自動的に指定したところから再生が始まります。



タイトル01 / 02 時間 : : :

時分秒を続けて入力します。
例 / 1時間7分45秒のところから再生したい場合は「10745」と入力

チャプター内の時間を指定して再生する



サーチボタンを3回押し、数字ボタンで再生したい位置の時間を入力します。正しく入力すると自動的に指定したところから再生が始まります。



チャプター03 / 32 時間 : : :

時分秒を続けて入力します。
例 / 7分32秒のところから再生したい場合は「00732」と入力

ご注意

- ディスクにないチャプター番号や収録時間を越えた数字を入力すると「入力が正しくありません」と表示されます。もう一度確かめてから操作してください。
- ディスクにより機能しない場合があります。

リピート

DVD-R/DVD-RW
VRモード

リモコン

リピート

再生中にリピートボタンを押すと、任意のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生することができます。

- リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。
- リピートマークは、リピートが設定されている間、表示され続けます。
- リピートを解除するには画面からリピート表示が消えるまで、リピートボタンを数回押してください。



チャプター チャプターを繰り返し再生

タイトル タイトルを繰り返し再生

オール ディスク内のすべてを繰り返し再生

ご注意 ディスクにより機能しない場合があります。

A-Bリピート

DVD-R/DVD-RW
VRモード

リモコン

A-B

A-Bボタンを操作すると、任意の2点間を指定して、繰り返し再生することができます。再生中に操作してください。

- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します(A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります)。
- A-Bリピートマークは、A-Bリピートが設定されている間、表示され続けます。

1 A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す



2 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す



指定した範囲が繰り返し再生されます。

ご注意 ディスクにより機能しない場合があります。

字幕

リモコン

字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。

- 再生中に字幕ボタンを押すたびに、字幕の内容が切り換わります。
- 字幕を消すには、字幕ボタンを数回押して「字幕なし」にします。



字幕01 / 02 : 日本語 ▶ 字幕02 / 02 : 英語

字幕なし

字幕の種類はディスクにより異なります。表示は約5秒後に消えます。

- ご注意
- ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
 - この機能は対応ディスクのみ有効です。字幕言語数はディスクにより異なり、パッケージに字幕内容が表示されています(字幕が2種類の場合 : [?])。
 - DVDによっては、ディスク内のメニューで字幕設定をするものもあり、操作方法が異なります。DVD付属の取扱説明書をご確認ください。
 - 電源を切ると、設定メニューの「その他の設定」>「字幕設定」で選択されている字幕言語に戻ります。
 - 選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
 - 変更した字幕(言語)が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

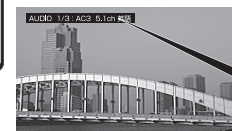
音声

DVD-R/DVD-RW
VRモード

リモコン

音声

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、再生中に音声ボタンを押すと好みの音声言語に切り換えることができます。



選択中の言語 / 含まれている音声言語数
音声種別(下記は5.1chの例)

AUDIO 1/3 : AC3 5.1ch 英語

言語(上記は英語の場合)

- ご注意
- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージにその数が表示されています(音声言語数が2の場合 : [2])。
 - ディスクにより機能しない場合があります。
 - 音声ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
 - 電源を切ると、設定メニューの「その他の設定」>「音声設定」で選択されている言語に戻ります。
 - 二重音声を含んだDVD-R / DVD-RW(VRモード)の場合は主音声と副音声切り換わります。

メニュー

本機

メニュー

リモコン

メニュー

再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲ / ▼ / ▶ / ◀)で好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。



メニュー

ディスクメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

- ご注意
- この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。
 - ディスクによっては、機能しないものもあります。
 - ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

タイトル

リモコン

タイトル

再生中または停止中にタイトルボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。表示されたタイトルメニューを見ながら、カーソルボタン(▲ / ▼ / ▶ / ◀)で好みのタイトルを選び、決定ボタンを押すと、再生が始まります。



タイトルメニュー

タイトルメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

- ご注意
- この機能はタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。
 - ディスクによっては機能しないものもあります。
 - DVDディスクは通常「タイトル」と呼ばれるセクションに大分割され、さらに各タイトルは「チャプター」と呼ばれるセクションに小分割されています。オーディオCDやビデオCDは「トラック」と呼ばれるセクションに分割されています。本機は「タイトル」を選んで再生することができます。

ズーム

リモコン

再生中または一時停止時にズームボタンを押すと、映像を拡大したり、縮小したりすることができます。

拡大時のみ表示され、カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で拡大部分を移動させることができます。

ヒントとご注意

- ズームボタンによる映像の拡大や縮小は常に画面の中心に対して行われます。
- ディスクにより機能しない場合があります。

アングル

リモコン

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

アングルマークが表示されている間のみ、この機能は有効です。

ご注意

- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。(アングル数が2の場合：02)
- アングルボタンを押したときに、無効マーク(0)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
- アングルマークが反応しないときは、設定メニューの「一般設定」>「アングルマーク」がオンになっているか確認してください。
- アングルマーク表示は約5秒後に消えます。
- ディスクによっては、アングルマークが表示されていても切り換えができなかったり、別アングル映像の収録が部分的で限定されている場合があります。

画面表示

リモコン

再生中または一時停止中に画面表示ボタンを押すと、そのDVDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

タイトル再生時間 — この部分は数秒後に消えます
タイトル01/02 チャプター 01/17 再生中のタイトルの再生時間を表示
0:01:15

タイトル残り時間
タイトル01/02 チャプター 01/17 再生中のタイトルの残り時間を表示
1:44:23

チャプター再生時間
タイトル01/02 チャプター 01/17 再生中のチャプターの再生時間を表示
0:01:15

チャプター残り時間
タイトル01/02 チャプター 01/17 再生中のチャプターの残り時間を表示
0:7:12

さらにもう1回押すと「表示オフ」になり、数秒後に消えます。

ファイルやフォルダーを選んで再生するには

お客様が作成したメディア(DVD-R/RWやCD-R/RW、USB フラッシュメモリー、SDカードなど)に含まれるファイルの再生は、ファイルリストから選択する方法のほか、フォルダー表示に切り換えて選択する方法があります。映像、音楽・音声、画像のいずれを含むメディアでも有効ですが、作成した機器の種類(パソコンのOSなど)やファイル形式によっては、正常に表示されなかったり、動作しない場合がありますのでご了承ください。

ご注意

- ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されないことがあります。ファイル名には半角英数字を使用することをおすすめします(半角英数字10文字以内)。
- ファイル名と共に表示されるアイコンは、ファイル形式によって異なります。
- 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン(▼)によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン(▼)を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

ファイルリストからファイルを選んで再生する

1 映像ファイルや画像ファイルを再生しているときは、停止ボタンを1回または2回押して完全停止する

本機 リモコン

ファイルリスト表示になります。
※音楽・音声を再生しているときはステップ2から操作してください。

2 ファイルリストからカーソルボタン(▲/▼)で希望のファイル名を選んで、決定ボタンを押す

本機 リモコン

再生が始まります。決定ボタンの代わりに再生ボタン(本機では再生/一時停止ボタン)を押しても、再生が始まります。

アイコン例：AV 映像(動画)ファイル
MP3 音楽・音声ファイル
IMG 画像ファイル

フォルダー表示に切り換えてからフォルダーやファイルを選んで再生する

映像ファイルや画像ファイルを再生しているときは、停止ボタンを1回または2回押して完全停止させた後、以下の操作をしてください。

1 タイトルボタンを押す

リモコン

フォルダー表示になります。もう一度押すとファイルリスト表示に戻ります。

2 カーソルボタン(▲/▼)でフォルダー名を選び、決定ボタンを押す

本機 リモコン

フォルダー内のファイルが表示されます。

3 リストからカーソルボタン(▲/▼)で希望のファイル名を選び、決定ボタンを押す

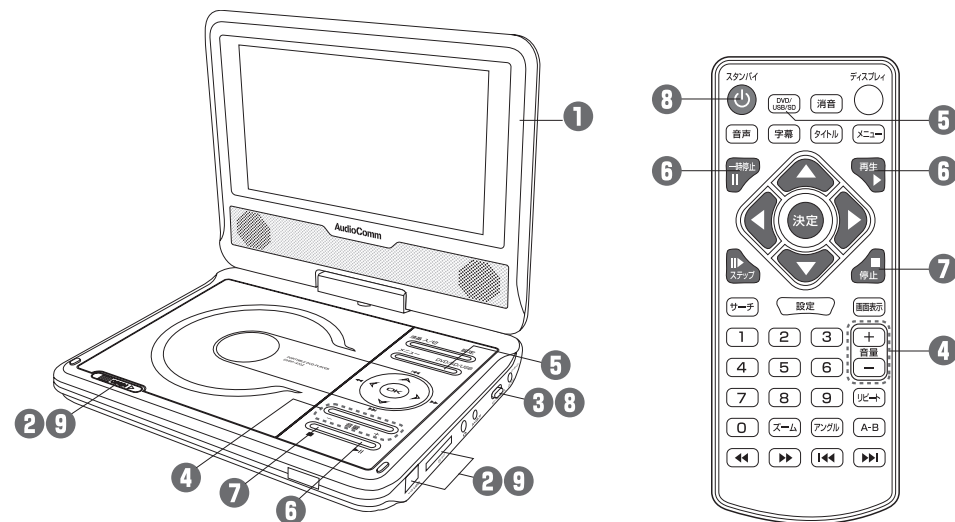
再生が始まります。決定ボタンの代わりに再生ボタン(本機では再生/一時停止ボタン)を押しても、再生が始まります。

ここを選んで決定ボタンを押すと、一つ上の階層に戻ります

音楽／音声再生時の基本操作

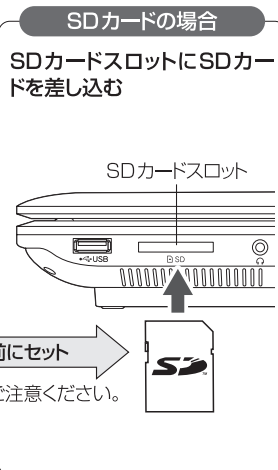
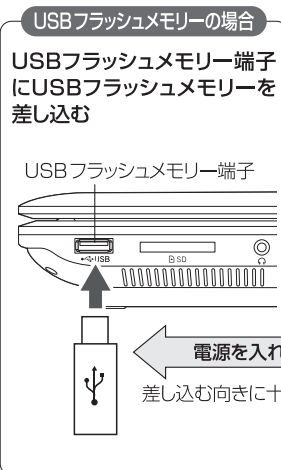
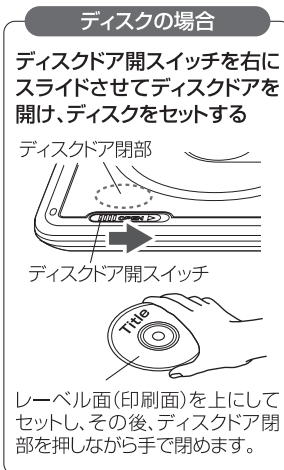
オーディオ CD や CD-R/RW、USB フラッシュメモリー、SD カードに記録された音楽や音声などを再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP9～13をご確認ください。
※対応するメディアやファイル形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。
- P7～8を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続(または充電電池／乾電池の装着)を正しく行ってから以下の操作をしてください。
- 本機画面のイラストは、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異なる場合があります。また、画面表示の設定により、イラスト内のマークや文字の内容、表示場所が異なる場合があります。



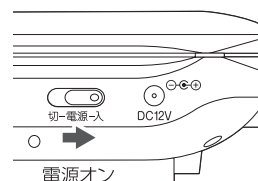
1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

2 本機にメディアをセットする



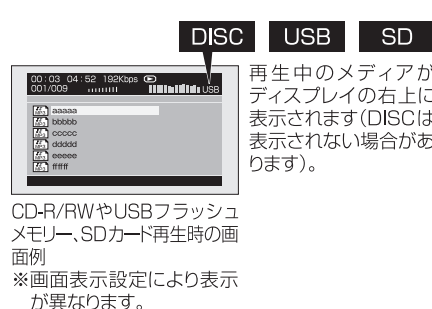
3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる

AudioCommのロゴが表示され、ディスク(DVDまたはCD)の読み込みが始まります(「ロード中」と表示されます)。ディスクの読み込みが完了すると自動再生が始まります。ディスクが装着されていないときや認識できない場合は、「ディスクなし」と表示され、USBフラッシュメモリー→SDカードの順番で、同様に読み込まれます。

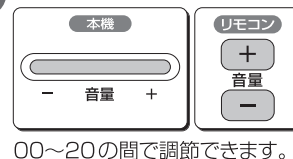


ヒント

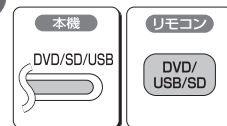
USBフラッシュメモリーとSDカードは電源を入れる前にセットしてください。ディスクの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。



4 音量ボタン(+/-)で音量を調節する



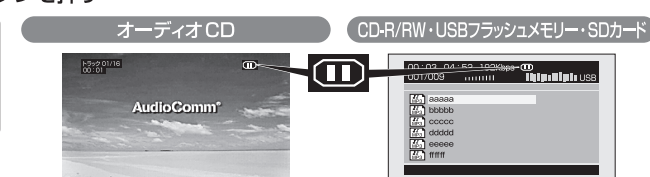
5 複数のメディアを装着し、再生するメディアを切り換えるときは、メディア切換ボタンを数回押す



押すたびにメディアが切り換わります。正しく読み込まれると再生が始まります。

6 再生を一時停止するには

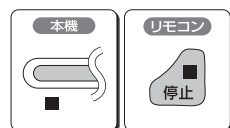
本機…再生／一時停止ボタンを押す
リモコン…一時停止ボタンを押す



再生を再開するには、本機の再生／一時停止ボタンをもう一度押すか、リモコンの再生ボタンを押します。
※ディスクによっては、決定ボタンで再生を再開するものもあります。

7 再生を停止するには

停止ボタンを押す



オーディオ CD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー・SDカード



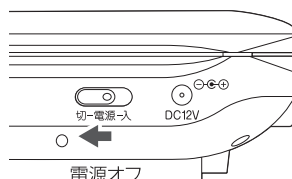
ヒント

- 停止ボタンを1回押すと再生が止まりますが、この状態で再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。
- メディアによっては1回の停止操作で完全停止になるものもあります。

8 終了するときは、リモコンのスタンバイボタンを押すか本機の電源スイッチを「切」に合わせる



- USBフラッシュメモリーやSDカードを取り外すときは、必ずスタンバイ状態にするか、電源を切った後で行ってください。



9 各メディアを取り出すには

ディスクの場合

ディスクドア開閉スイッチを右にスライドさせてディスクドアを開け、ディスクを取り出す



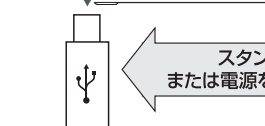
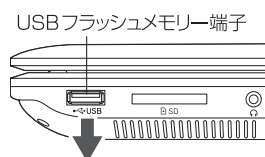
ディスクドア開閉スイッチ



回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

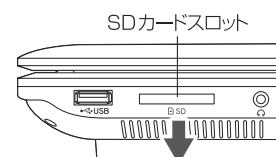
USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子からUSBフラッシュメモリーを抜く



SDカードの場合

SDカードスロットからSDカードを抜く



スタンバイ状態
または電源を切ってから抜く

ご注意

- メディアによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができない場合があります。その場合は、リモコン側で操作してください。
- 自動で再生が始まらない場合は、再生ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
- ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- フォルダーによって階層化されたメディアをセットした場合、本機では最初に全ファイルを並列的にリスト表示します。フォルダーでの操作はP.36を参照してください。
- 本機での再生に適していないメディアは、読み込み動作後に「ディスクなし」と表示されます。また、読み込み後でも、再生できないファイルは「対応していないファイルです」と表示されます。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 使わないときは本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長時間使わないときは、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機及びリモコンの充電電池／乾電池も取り外してください。
- 本機から取り外したメディアは、専用ケースに入れるなどして大切に保管してください。

ヒント CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを再生するときの画面表示例



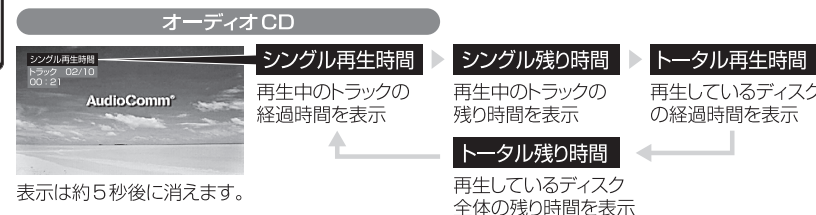
ご注意

- 同じメディア内に映像や音楽・音声、画像ファイルが混在する場合、音楽・音声以外のファイルが自動再生されることがあります。そのようなときは、停止ボタンを2回または1回押して再生を完全停止し、ファイルリストからカーソルボタン(▲/▼)で希望のファイル名を選んで、決定ボタンまたは再生ボタンを押してください。
- ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されないことがあります。ファイル名には半角英数字を使用することをおすすめします(半角英数字10文字以内)。
- ファイル名と共に表示されるアイコンは、ファイル形式によって異なります。
- 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン(▼)によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン(▼)を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

画面表示

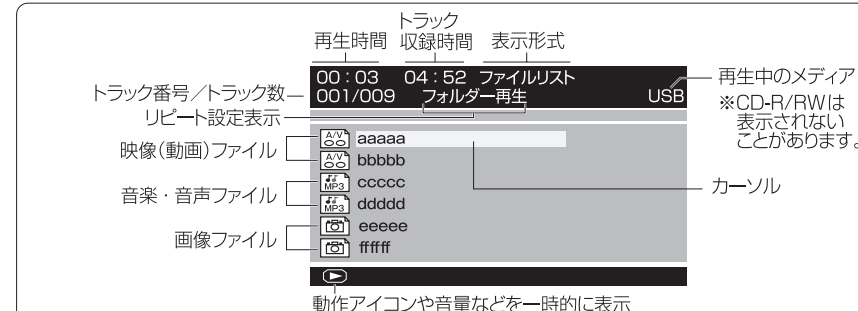


再生中または一時停止中に画面表示ボタンを押すと、再生に関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。



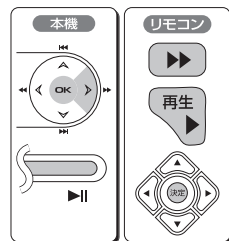
CD-R/RW・USBフラッシュメモリー・SDカード

上記コラムの画面表示と、下記の表示スタイルを切り換えます。



■ 早送り・早戻し

早送り

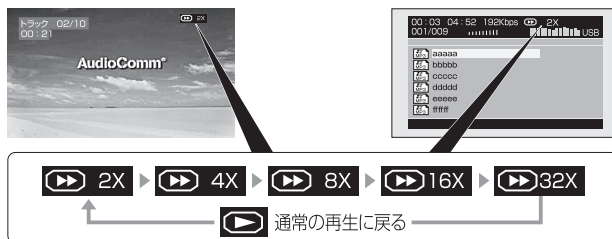


再生中に早送りボタンを押すと早送りができます。

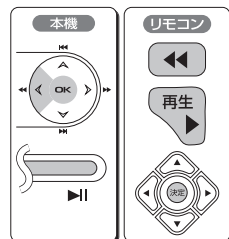
- ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタンを押します。
- トラックをまたぐ早送りはできません。

オーディオ CD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー・SDカード



早戻し

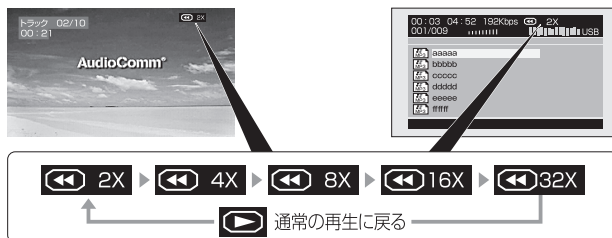


再生中に早戻しボタンを押すと早戻しができます。

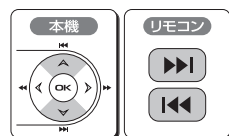
- ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタンを押します。
- トラックをまたぐ早戻しはできません。

オーディオ CD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー・SDカード



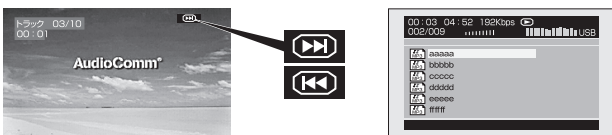
■ スキップ(▶▶/◀◀)



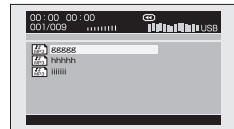
- 再生中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次のトラックに進んで再生します。
- 再生中にスキップボタン(◀◀)を押すと、トラックの先頭に戻って再生します。メディアによっては、一つ前のトラックに戻って再生するタイプもあります。

オーディオ CD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー・SDカード



ヒント 7つ以上のトラック(ファイル)が記録されたCD-R/RWやUSBフラッシュメモリー、SDカードの場合、停止中にスキップボタン(▶▶/◀◀)を押すと、前後のページにジャンプしてファイルリストを表示します。



■ サーチ

サーチ機能を使うと好きな場所を指定して再生することができます。再生中、再生一時停止中、停止中の各状態によって使いかたや機能が異なりますので、下記を参照して使い分けてください。

オーディオCDでのサーチ方法

1 サーチボタンを押す



本機の動作状況や機能に応じた回数を押します(下図参照)。



2 数字ボタンを使って再生を開始したい位置の時間やトラック番号を入力する



サーチモードに応じた数字を入力します(下図参照)。

再生中、再生一時停止中 または停止中に サーチボタンを1回押す	ディスク時間: : ディスク全体の中での位置(時間)を指定して再生	再生開始位置の時間を入力 例 / 45分8秒のところから再生したい場合は「4508」と入力
再生中、再生一時停止中に サーチボタンを2回押す ※停止中は使用不可	トラック時間: : 再生中または再生一時停止中のトラック内での位置(時間)を指定して再生	再生開始位置の時間を入力 例 / 3分05秒のところから再生したい場合は「0305」と入力
再生中、再生一時停止中に サーチボタンを3回押す または停止中に2回押す	トラック選択: /XX トラック番号を指定して再生 ※「XX」は総トラック数	再生したいトラック番号を入力 例 / 8番目のトラックから再生したい場合は「8」と入力

ヒント

- 正しく入力されると自動的に指定した場所から再生を始めます。
- ディスクやトラックの収録時間より大きな数字を入力した場合や、ディスクにないトラック番号を入力すると「0」が表示されます。
- サーチボタンを押さずに、直接数字ボタンを押すと、「トラック選択」と同じサーチモードになります。

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリー、SDカードでのサーチ方法

トラック時間またはトラック番号によるサーチができます(停止中はトラック番号によるサーチのみ)。

1 サーチボタンを押す



画面左の経過時間表示やトラック番号表示が入力ボックスに変わります。



2 数字ボタンを使って再生を開始したいトラック番号を入力する



3ケタで入力します。
例 / 5は「005」、12は「012」と入力します。

再生中、再生一時停止中、 または停止中に サーチボタンを1回押す	--- / XXX トラック番号を指定して再生 ※「XXX」は総トラック数	再生したいトラック番号を入力 例 / 8番目のトラックから再生したい場合は「008」と入力するか、「8」+決定ボタンを押します。
再生中、再生一時停止中に サーチボタンを2回押す ※停止中は使用不可	- - - - トラック内での位置(時間)を指定して再生	再生開始位置の時間を入力 例 / 3分05秒のところから再生したい場合は「0305」と入力

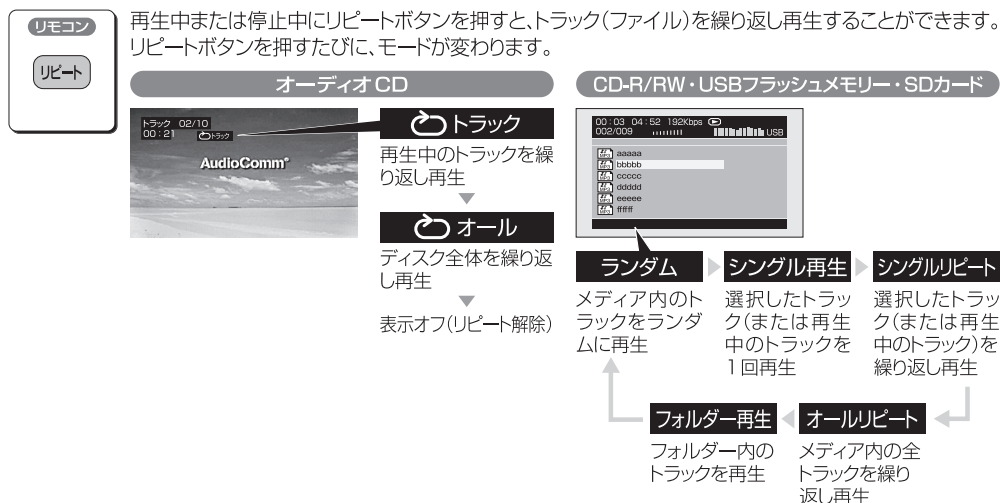
ヒント

- 正しく入力されると自動的に指定した場所から再生を始めます。
- ディスクにないトラック番号を入力した場合は無効になります(ステップ1の入力ボックスが消えますので、改めて正しいトラック番号を入力してください)。
- サーチボタンを押さずに直接数字ボタンを押すと、トラック番号でのサーチモードになります。

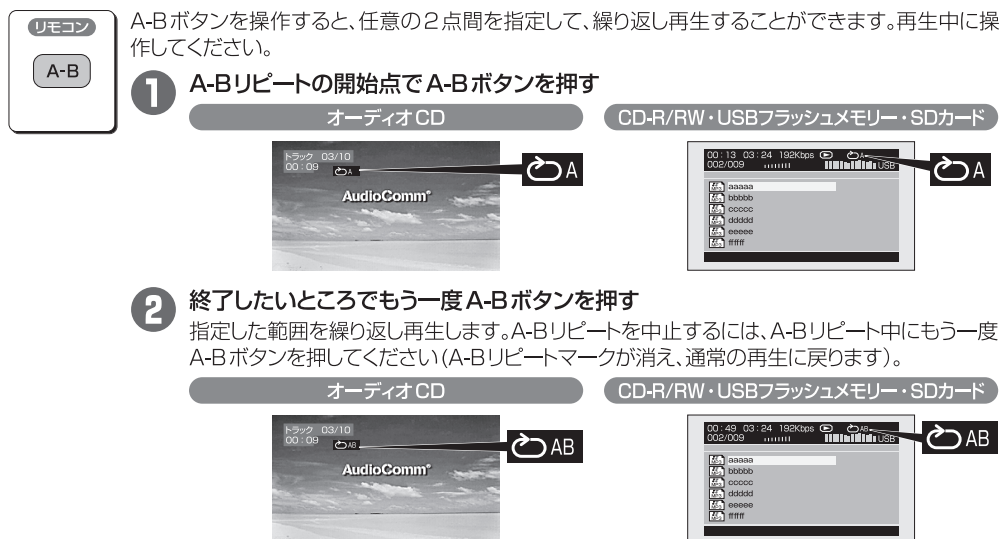
消音



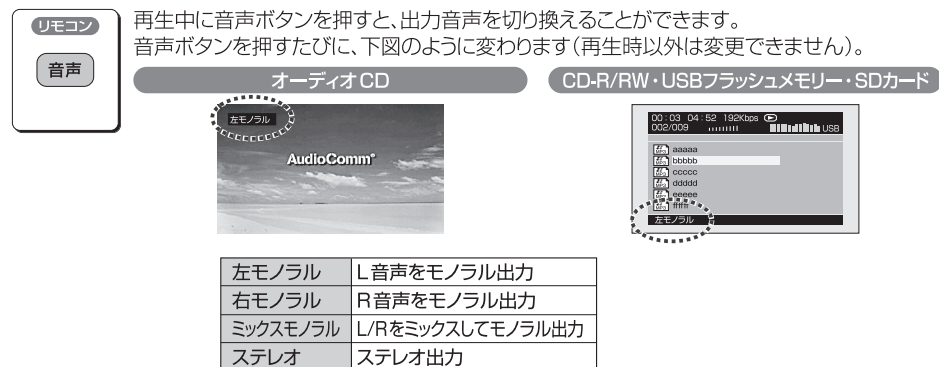
リピート



A-Bリピート



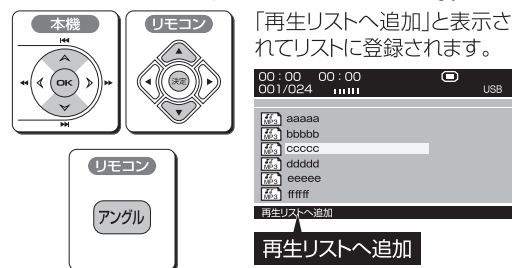
音声切換



再生リスト

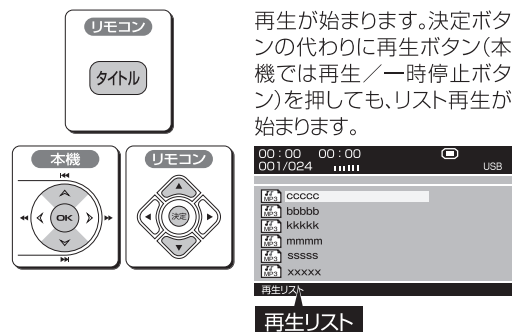
再生リストに登録して任意の順番で再生することができます。お客様が作成したメディア (CD-R/RW、USB フラッシュメモリー、SD カードなど) に含まれるファイルを再生するときのみ有効です。映画などの DVD ソフトやオーディオ CD ではこの機能は使えません。

1 カーソルボタン(▲/▼)で再生リストに登録したいファイルを選び、アングルボタンを押す



2 同様の手順で、登録したいファイルを登録する

3 タイトルボタンを数回押して再生リストを表示し、決定ボタン押す



- ご注意**
- 同一メディア内であれば、映像、音楽・音声、画像のいずれも再生リストに登録できますが、再生時はファイルタイプ別で再生され、ファイルタイプを超えての連続再生はできません。リスト再生開始時に選んだファイルと同じタイプのもののみが連続再生されます。
 - メディアをまたいでの登録はできません。
 - 作成した機器の種類 (パソコンの OS など) やファイル形式によっては、正常に表示されなかったり、動作しない場合があります。
 - 電源を切ったり、他のメディアに移行したりしたときは、再生リストが破棄されます。
 - 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン (▼) によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン (▼) を押すことで、次のリストを表示することができます。
 - ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されないことがあります。ファイル名には半角英数字を使用することをおすすめします (半角英数字 10 文字以内)。

ヒント

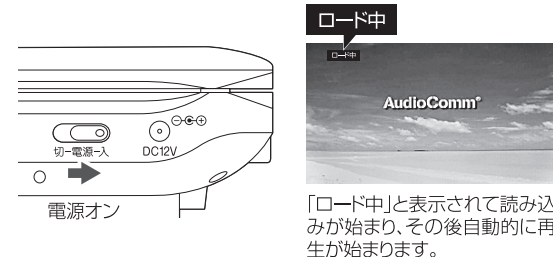
- 再生リストから通常のファイルリストやフォルダー表示に戻るには、タイトルボタンを数回押してください。
- 再生リストからファイルを削除するには、削除したいファイルをカーソルボタン (▲/▼) で選び、アングルボタンを押します。

■■■ 画像再生時の基本操作

CD-R/RWやUSB フラッシュメモリー、SD カードに記録された写真や画像を再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP9～13をご確認ください。
※対応するメディアやファイル形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。
- P7～8を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続(または充電池／乾電池の装着)を正しく行ってから以下の操作をしてください。
- 本機画面のイラストは、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異なる場合があります。また、画面表示の設定により、イラスト内のマークや文字の内容、表示場所が異なる場合があります。

- 3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる
AudioCommのロゴが表示され、ディスク(DVDまたはCD)の読み込みが始まります(「ロード中」と表示されます)。ディスクが装着されていないときや認識できない場合は、「ディスクなし」と表示され、続いてUSBフラッシュメモリー→SDカードの順番で、同様に読み込まれます。



ヒント USBフラッシュメモリーとSDカードは電源を入れる前にセットしてください。
CDの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。

- 4 複数のメディアを装着し、再生するメディアを切り換えるときは、メディア切換ボタンを数回押す



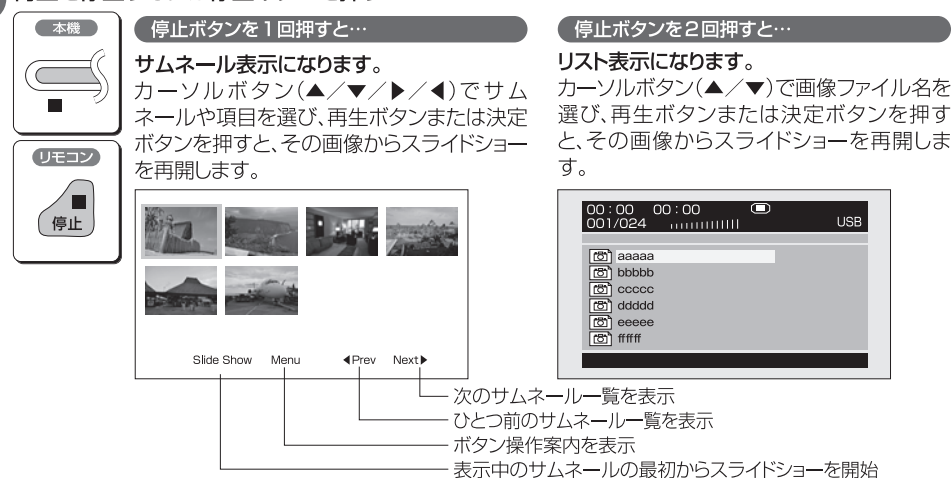
- 押すたびにメディアが切り換わります。正しく読み込まれると再生が始まります。
- 本機では同一メディア内の画像ファイルが自動的にスライドショー再生されます(約5秒間隔で切り換わります)。

- 5 再生時の様々な表示切換

スライドショー再生中は、リモコンのボタン操作により様々な表示切換ができます。

次画像へ	表示中の画像を上下反転	スーム	表示中の画像を5段階で拡大・縮小表示。さらに拡大表示中は で拡大表示部を移動
前画像へ	表示中の画像を左右反転		
スライドショーを一時停止(もう一度押すと再開)	表示中の画像を反時計回りに90°回転		
スライドショーを再開	表示中の画像を時計回りに90°回転		

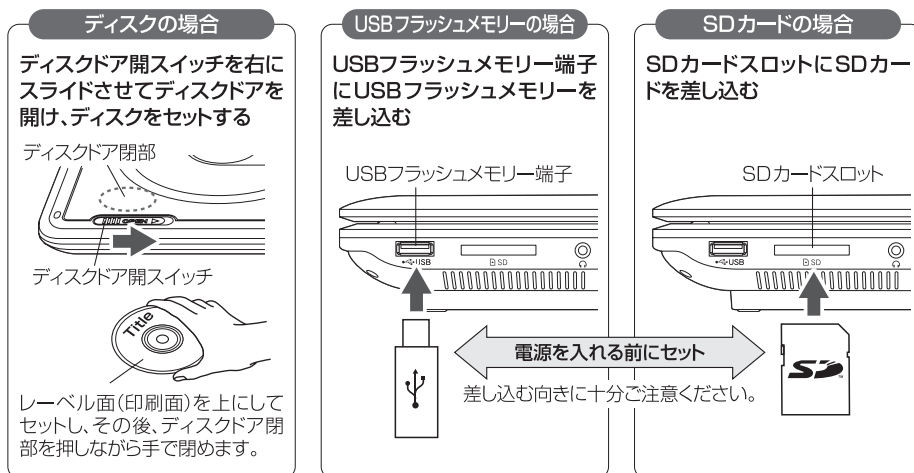
- 6 再生を停止するには停止ボタンを押す



画像を見る

- 1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

- 2 本機にメディアをセットする

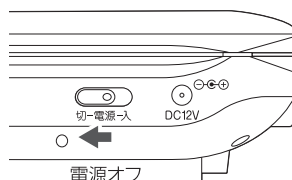


画像を見る

7 終了するときは、リモコンのスタンバイボタンを押すか 本機の電源スイッチを「切」に合わせる



- USBフラッシュメモリやSDカードを取り外すときは、必ずスタンバイ状態にするか、電源を切った後で行ってください。



8 各メディアを取り出すには

ディスクの場合

ディスクドア開スイッチを右にスライドさせてディスクドアを開け、ディスクを取り出す

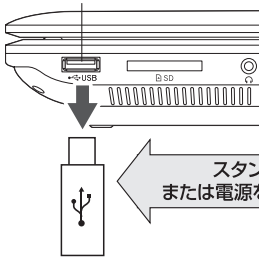


回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子からUSBフラッシュメモリーを抜く

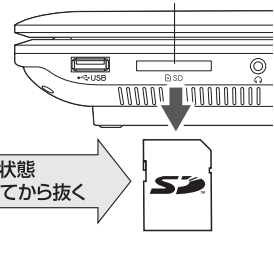
USBフラッシュメモリー端子



SDカードの場合

SDカードスロットからSDカードを抜く

SDカードスロット

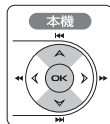


スタンバイ状態
または電源を切ってから抜く

- ご注意**
- メディアによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができない場合があります。その場合は、リモコン側で操作してください。
 - 自動で再生が始まらない場合は、再生ボタンまたは決定ボタンを押して、再生を開始してください。
 - ディスクに汚れやキズがあると、再生が停止することがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
 - フォルダーによって階層化されたメディアをセットした場合、本機では最初に全ファイルを並列的にリスト表示します。フォルダーでの操作はP.36を参照してください。
 - 本機での再生に適していないメディアは、読み込み動作後に「ディスクなし」と表示されます。また、読み込み後でも、再生できないファイルは「対応していないファイルです」と表示されます。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
 - 使わないときは本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使わないときは、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機及びリモコンの充電電池／乾電池も取り外してください。
 - 本機から取り外したメディアは、専用ケースに入れるなどして大切に保管してください。

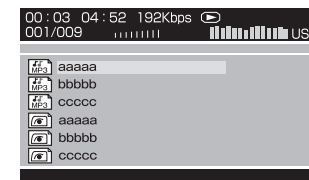
- ヒント**
- 再生リストに登録して任意の順番で再生することができます。詳しくはP.44をご参照ください。

ヒント 音楽を再生しながら、画像を見るには
同一メディア内の画像と音楽を同時に再生できます。

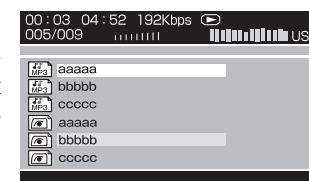


1 音楽ファイルを再生する 「音楽／音声再生時の基本操作」(P.37～40) を参照してください。

2 同一メディア内の画像ファイルを再生する ファイルリスト内の画像ファイルをカーソルボタ ン(▲/▼/▶/◀)で選び、決定ボタンまた再 生ボタンを押すと、スライドショー再生がはじまり ます。



音楽ファイルを選択して再生



画像ファイルを選択して再生

- 同時に再生できるのは同一のメディア内のみです(異なるメディアの音楽ファイルと画像ファイルを同時に再生することはできません)。
- 画像ファイルの再生を開始すると、ボタン操作は画像に対する操作となります。
- 画像ファイルのスライドショー再生中は音楽ファイルを操作することはできません。停止ボタンを2回押してファイルリスト表示まで戻ると、音楽ファイルの操作ができます。
- 音楽・画像のそれぞれにリピートモードを設定できます。

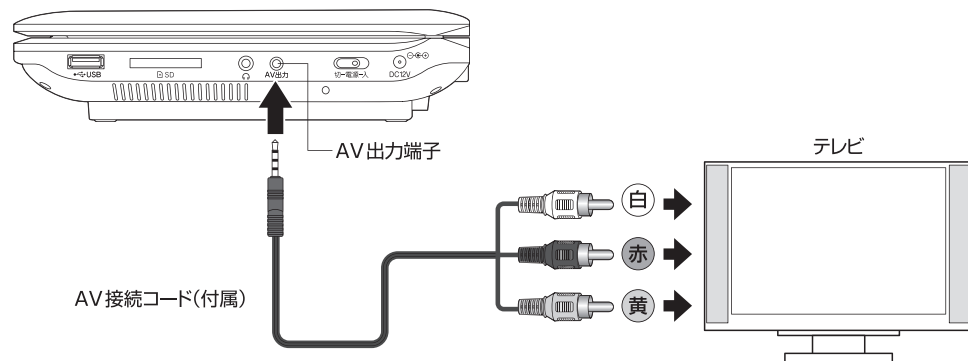
■ 外部のテレビと接続して使う

本機で再生する映像や音楽・音声、画像を外部のテレビに出力して楽しむことができます。

接続方法

本機、外部テレビ双方の電源を切ってから行ってください。

付属のAV接続コードを使って、赤色(右)・白色(左)・黄色(映像)のプラグを、テレビ側のビデオ入力端子(音声左・音声右・映像)に、それぞれ接続します。また反対側のプラグを本機のAV出力端子に接続します。



操作方法



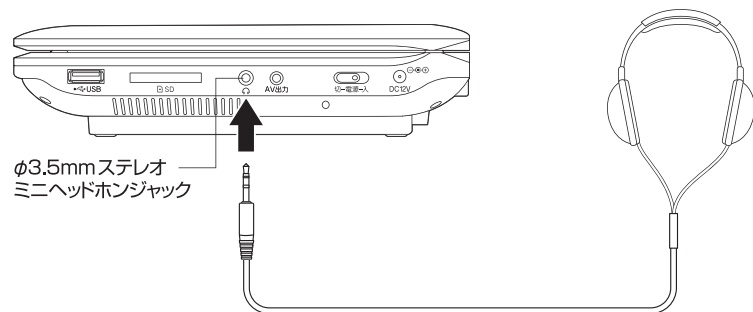
外部テレビと本機双方の電源を入れます。その後、テレビは本機からの接続ポートに合わせて入力切替を行ってください。

リモコンのディスプレイボタンを押すと、本機のディスプレイ表示をオフにすることができます。もう一度押すと、再表示されます。

- ご注意**
- リモコンの消音ボタンを押して本機からの音声出力を消した後、テレビの音量を調節してお楽しみください。
 - 消音ボタンを押す前に、本機の音量設定を低くしすぎないようにご注意ください。本機の音量設定が低いまま消音ボタンを押し、テレビ側で音量を大きくすると、通常のテレビ視聴に戻った際、突然大きな音が出る場合があります。このようなことを防ぐため、本機での再生を終了するときには、必ずテレビの音量も低く抑えてください。

■ ヘッドホンで聴くときは

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機右側面にあるφ3.5mmステレオミニヘッドホンジャックにつないでください。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



- ご注意**
- ヘッドホンを使用するときは、本機の音量を下げた状態で接続してください。また使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

■ 故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・ ACアダプターが本機側、家庭用コンセント側ともに正しく接続されていますか? ・ 本機の充電電池／乾電池が消耗していませんか?	→接続を再確認する →新しい乾電池と交換する。充電電池の場合は充電をする

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
字幕が表示されない	・ 字幕の入ったディスクのみ表示します。 ・ セットアップメニューの字幕言語の設定が「オフ」になっていませんか?(P.24)	→字幕が入っているかどうか確認する →「オン」に変更する
すべての設定を買い上げ時に戻したい	—	→セットアップメニューの「初期化」を実行する(P.27)
再生できない またはすぐに停止する	・ 寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。 ・ ディスクが汚れていませんか? ・ 記録済みのディスクが入っていますか? ・ ディスクが正しくセットされていますか? ・ 視聴制限の設定が有効になっていませんか? ・ 2層ディスクが1層から2層に切り変わったような感じではありませんか? ・ 原因がはっきりしない場合	→1~2時間放置する →P.48を参考にディスクをクリーニングする →再生できるディスクかどうか、確認する →ディスクを正しくセットする →視聴制限の設定で規制レベルを変更する →映像が一瞬止まることありますが、故障ではありません →1.停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 2.本機の電源を切り、ACアダプターを本機側、家庭用コンセント側ともに抜き、再度差し込んでから再生してみる
DVDやCDの再生ができない	・ 記録されているフォーマットが未対応、または本機で再生できるリージョン番号でないディスクではありませんか? ・ ディスクに汚れやキズが付いていませんか?	→ディスクを確認する →P.48を参考にディスクをクリーニングする、または交換する
市販のDVDを再生しているときに言語ボタンを押しているのに、音声は日本語に切り換わらない	・ DVDビデオに日本語の音声が入っていますか? ・ 言語ボタンでの切替はディスクによっては制限されている場合があります。	→ディスクを確認する →DVD側のメニュー画面から、音声を切り換える —
各ボタン操作ができない	・ 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ・ 落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。	— →本機の電源を一度切り、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる
リモコン操作ができない	・ リモコンに乾電池は入っていますか? ・ リモコンの乾電池が消耗していませんか? ・ 本機のリモコン受光部に向けて操作していますか? ・ リモコン受光部に強い光が当たっていませんか? ・ リモコンと受光部が遠すぎませんか? ・ リモコンと受光部の間に障害物がありますか? ・ 乾電池が正しく入っていますか?	→乾電池を入れる →乾電池を新しくする →受光部に向けて操作する →光が当たらないよう向きを変える →約4m以内、上下左右30度以内のところで操作する →障害物を取り除く →乾電池の⊕⊖の向きを確認する

故障かなと思ったら(つづき)

映像・画像に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
映像・画像が出ない	- ディスプレイ表示がオフになっていませんか？ - スクリーンセーバーモードやスタンバイモードになっていませんか？ - ディスクは正しく装着されていますか？ - 映像や画像が含まれないディスクが入っていませんか？ - メディアを正しく選択していますか？ (充電池／乾電池使用時)充電池／乾電池が消耗していませんか？ - ファイルのフォーマットや拡張子は適していますか？ - 映像や画像のサイズが大きすぎませんか？最大解像度を超える映像や画像は、再生時に時間がかかったり、再生できない場合があります。 - エンコードソフトが本機での再生に適さないタイプかもしれません。 - 自分で録画したDVDが再生できない	→ディスプレイボタン(本機：液晶入／切ボタン)を押して確認する →リモコンのスタンバイボタンやその他のボタンを押してみる。または電源スイッチを切って、再度入れてみる →正しくディスクをセットする →ディスク内容を再確認する - 再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する →DVD / USB 切換ボタンを確認する →新しい乾電池と交換する。充電池の場合は充電をする →P.10～13を参照してファイルフォーマットや拡張子を確認する →画像の場合は市販の編集ソフトなどでファイルサイズを小さくしてから再生する →エンコードソフトを変えて試してみる(変換方法について弊社ではサポートしかねますのでご了承ください) →ファイナライズされているかを確認する
映像がゆれる	(充電池／乾電池使用時)充電池／乾電池が消耗していませんか？	→新しい乾電池と交換する。充電池の場合は充電をする
映像や画像にノイズやゆがみ・乱れが出る	- ディスクが汚れていたり、傷がありませんか？ - 携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか？	→ディスクを確認する →本機から離して使用する
画面の縦方向が縮小している	セットアップメニューの画面モードの設定は正しいですか？	→ワイドに設定変更する
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 - 元の画像にブロックノイズがすでにある場合 - 天候などにより受信状態が悪い状態で録画した場合 - 画像レートの設定に近い状態で録画した場合 - 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 - ディスク上の物理エラーによる場合	—

音楽・音声に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
音が出ない 再生できない	- 音量を最小にしていますか？ 「消音」したままになっていませんか？ - ヘッドホンが差し込まれていませんか？ - メディアを正しく選択していますか？ - ファイルのフォーマットや拡張子は適していますか？ - エンコードソフトが本機での再生に適さないタイプかもしれません。	→音量レベルを確認する →消音を解除する →ヘッドホンを抜く →DVD / USB 切換ボタンを確認する →P.10～13を参照してファイルフォーマットや拡張子を確認する →エンコードソフトを変えて試してみる(変換方法について弊社ではサポートしかねますのでご了承ください)
音が飛ぶ、雑音が入る	- ディスクが汚れていたり、傷がありませんか？ - 携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか？	→ディスクを確認する →本機から離して使用する

用語解説

用 語	説 明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.9の「CPRMとは？」の項を参照してください。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像／音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤー DVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
VRモード	P.9の「ビデオモード、VRモードとは？」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
視聴制限 (パレンタルロック)	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定や視聴制限(パレンタルレベル)などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード (再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

よくあるご質問

Q 5.1ch 音声を楽しむことはできますか？	Q 病院で使えますか？
A 本機では5.1chには対応しておりません。	A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。
Q 海外でも使用できますか？	Q 海外で買ったDVDビデオを再生できますか？
A 国内使用のみです。	A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

■ 主な仕様

外部電源	専用ACアダプター 入力：AV100V 50/60Hz 0.65A 出力：DC12V≒1.5A DC9V アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池 6本(別売)
パネル	7型ワイドTFT液晶(回転式)
パネル解像度	1024×600ピクセル
信号方式	NTSC / PAL
接続端子	AV出力ジャック(映像／音声)、φ3.5mmステレオミニヘッドホンジャック、 USBフラッシュメモリー端子、SDカードスロット、外部電源端子
連続再生時間	アルカリ乾電池：約2時間 ニッケル水素充電電池：約3時間(弊社 2000mA×6本使用の場合)
使用動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
スピーカー定格出力	1W×2(r.m.s.)
外形寸法	幅208×高さ50×奥行166mm
質量	約620g(乾電池含まず)
付属品	専用ACアダプター、リモコン、AV接続コード(RCA)、取扱説明書(保証書付)

※アルカリ乾電池やニッケル水素充電電池での連続再生時間は目安であり、使用条件や使用する電池の種類、状況により異なります。ディスクの再生時間もあわせて確認し、本機をご利用ください。

※マンガン乾電池ではご使用になれません。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。また、取扱説明書のイラストが製品と一部異なる場合があります。

■ お手入れのしかた



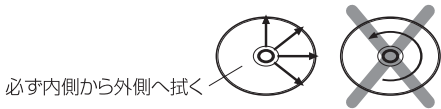
お手入れの際には必ず電源の配線をはずしてください。感電の原因となることがあります。

キャビネットの清掃

- キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- 液晶画面は乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。濡れた布などは、内部に水が入り故障の原因となりますので使わないでください。

コンパクトディスクのお手入れ

- 本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
- 必ず内側から外側に放射状にふいてください。
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。



必ず内側から外側へ拭く

USBフラッシュメモリーやSDカードのお手入れ・保管について

- USBフラッシュメモリーの接続部に指紋やホコリなどの汚れが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品、及び静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
- 以下のような場所での保管は避け、キャップカバーやカードケースなどが付属している場合は必ずそれらを使って保護し、保管してください。
 - ・高温の場所 ・直射日光の当たる場所 ・極端に温度の低い場所
 - ・浴室や加湿器の近くなど湿度の高い場所 ・ホコリや砂塵など浮遊物が多い場所
- ご使用に当たっては、それぞれの機器に付属する取扱説明書や注意書きもあわせてご確認ください。

■ 保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。